

# Voice...7

消防試験研究センターだより vol.392

2022



## top

日々これ、誰が為の……

## こだま

福井県立坂井高等学校「本校の危険物取扱者試験への取組」

## 支部の広場

岡山県支部からお届け



「消太」



①



②



③



④



表紙によせて

### 蒜山高原(真庭市)／表紙上段

雄大な自然と多彩な観光スポットが集まる蒜山高原は、西日本屈指の高原リゾート。可愛いジャージー牛の放牧が見られるほか、レストランやショップで食事や買い物を楽しめる「ひるぜんジャージーランド」をはじめ、自家栽培の山ぶどうからワインを醸造している「ひるぜんワイナリー」、ラベンダーやハーブ、四季折々の植物が栽培されている「蒜山ハーブガーデンハービル」など、立ち寄りたスポットが盛り沢山です。また、自然の中で楽しめるアクティビティも充実しており、キャンプやサイクリングにも最適。ジャージー牛乳を使ったスイーツや乳製品、ご当地グルメのひるぜん焼きそば、ジンギスカンなど、蒜山ならではのグルメにも注目です。

### くだもの王国おかやま／表紙下段

雨が少なく、晴れの日が多い「晴れの国おかやま」は、全国有数の果物どころで、何よりの味自慢は白桃、マスカット、ピオーネなどです。おかやまの果物のおいしさをご賞味ください。

写真提供：岡山県観光連盟

### ①岡山後楽園(岡山市)

日本三名園のひとつ。岡山藩2代目藩主・池田綱政が自ら憩いの場として築いた大庭園。季節の花が彩る広々とした園内は江戸時代さながらの別世界。1952年には歴史的文化遺産として“特別名勝”に指定されています。四季を通じて茶つきや月見など様々な行事が催されているほか、春(GW)、夏と秋の年3回、昼間とは趣を変えて園内をライトアップする夜間特別開園「幻想庭園」を楽しむことができます。

### ②倉敷美観地区(倉敷市)

白壁の蔵屋敷、なまこ壁、柳並木など、趣ある景観が楽しめる倉敷美観地区。伝統的な建物が作り出す町並みや、倉敷川沿いのレトロモダンな風景が、世界中の人を魅了し続けています。「倉敷帆布」「倉敷デニム」といった倉敷ブランドが揃うショップや、町家を改装したカフェなどが軒を連ね、「大原美術館」「アイビースクエア」などの文化施設も多く集まり、1日中散策しても飽きないエリアです。

### ③備前焼

「日本の六古窯」のひとつ備前焼。中でも最も古い約1000年の歴史を誇ります。釉薬を一切使用せず、絵付けもせず、ただ窯で焼くのが特徴です。仕上がりは土の性質や温度の変化によって変わるため一つとして同じ色、同じ模様の備前焼は存在しません。約1～2週間かけて高温で焼き締めるので「投げても割れない」と言われるほど丈夫な焼き物。使うほどに味わい深くなる逸品です。

### ④岡山ばらずし

岡山ばらずしは瀬戸内海の海の幸と旬の野菜を華やかに盛りつけた岡山を代表する郷土料理。江戸時代、備前岡山藩の初代藩主・池田光政によって質素倹約が奨励され、「食膳は一汁一菜とする」という倹約令を發布。それに対して庶民が反発し、「ご飯の上に乗せても一菜は一菜」とごはんの上に魚や野菜を乗せて「ばら寿司」として食べたのが始まりと言われています。

002

## top

日々これ、誰が為の……

日本消防検定協会

監事

長尾 一郎

004

## こだま

福井県立坂井高等学校「本校の危険物取扱者試験への取組」

008

## 業務情報

令和3年度事業報告及び決算

令和3年度の試験実施結果について

令和3年度の免状作成等の状況について

028

## 支部の広場

岡山県支部からお届け

030

## topic

合格体験記

吉村 祐摩

奈良県立王寺工業高等学校

情報電子工学科3年

032

## 消防庁の通知・通達等

034

## 業務報告

4・5月の試験実施結果・免状作成状況

# 7 Voice...

消防試験研究センターだより

2022 July vol.392





### 3 訓練 (training)、訓練 (drill)、訓練 (exercise)

災害時の応急対応を迅速に行うことや、平時での体制維持を図るのに有効なのが「訓練」です。ただし、訓練も目的に応じて手法が異なります。

職員や機関がマニュアル通りに活動できるようにスキルアップや手順の確認を目的としたのがトレーニング。各種の機関や人員が相互に連携出来ることを確認するのがドリル。情報の伝達ルートや情報の過不足を確認したり、マニュアルの不備などを見つけるのがエクササイズです。

特に重要なのがエクササイズで、卓上で会議形式で行うテーブルトップエクササイズ（図上訓練）が有名です。これは災害対応を模擬的に会議形式で実施するものです。その際には既存のマニュアルを用い、記されている通りの手順で実施してみて問題がないかの確認や情報の適否を判断します。

先の備蓄物資の管理情報の不足により、対応が遅れるような問題点もこの訓練で見つけることができ、マニュアルやストック情報の充実につなげることが出来るのです。

### 4 違和感は結構正しい

応急対応ではいろいろな違和感が生じます。

「マニュアルではこう書いてあるが……これがベストなのだろうか？」などの疑問が生じます。しかし、その後の膨大な業務に呑み込まれて忘却してしまうこともあり、また、対応が終わっていると「結果オーライ」でなかなか疑問を質することができない雰囲気にもなってしまいます。

しかし、多くの場合、その疑問や違和感は結構正しい場合が多くあります。

そこで、対応が終了したあとに行われるデブリーフィ

ングでは、臆せず、課題として提案することとしましょう。

### 5 空振りは訓練とする

さて、「空振りは許されても見逃しは許されない。」

私たち防災にたずさわる者が常に肝に銘じておく言葉ですが、最近、「空振り」ではなく「素振り」であると思えとの言を聞きました。

アラームが鳴り、多くの職員が緊急参集したが大きな被害では無かった場合、結果「空振り」になります。そのことで「なんだ、たいしたこと無かった。大げさに人を集める必要が無かった」と批判するのではなく、見逃しでは無かったことをポジティブに受け止めることです。

これを更に進めて、結果、軽微な事案であったとしても、その対応については訓練と思って実施する。まさに「素振り」として対応することで良いのです。その軽微な災害で準実践的大規模訓練ができたのであれば、それも良いとの考えは、まさに「素振り」なのです。

さて、改めて、情報や訓練の在り方について私なりの整理をしてみました。とどのつまり、日々行っている業務の目的を常に意識しておくことで、そのための訓練や情報の維持管理を怠らないことに尽きるのです。



## 福井県立坂井高等学校

# 本校の危険物取扱者試験への取組

南部 健司 (なんぶ けんじ)  
福井県立坂井高等学校  
電気・情報システム科 電気コース  
教諭

### 1. 学校の概要

本校は福井県の北西部にある坂井平野の坂井市に位置しています。坂井市は、「平成の大合併」において福井県内最後の合併により、2006年（平成18年）3月20日、県内では2番目の人口規模として誕生しました。

第一次産業の農業では「コシヒカリ」が福井県内最大の生産高、「花らっきょ」が全国一の生産量を誇ると共に「越のルビー（ミディトマトの一種）」の生産地としても有名で、畜産業では「若狭牛」の福井県内最大の育成地となっています。

第二次産業も盛んで、素材・化学・食品・医薬品技術やエンジニア（機械・電気・電子・半導体・制御）の業種を持つ企業が福井臨海工業地帯（テクノポート福井）を中心に多く所在しています。

本校は、上記のような地元の産業を継続して支えるべく、2014年（平成26年）に前身の福井県立坂井農業高等学校の敷地・校舎を活用し、近隣の春江工業高等学校、金津高等学校経理科・情報処理科、三国高等学校家政科を統合し、4学科・8コースからなる県下最大の総合産業高校である福井県立坂井高等学校として開校しました。

### 2. 学科・コース紹介

本校の学科・コースの人材育成目標と取り組んでいる資格について紹介します。

#### 食農科学科

##### ・農業コース

食と農に関して、食料生産だけでなく生産から販売までを幅広く学びます。

統合環境制御ハウスをはじめ最先端の施設を活かし、新しい時代の農業技術者を育成しています。

農業コースで学んだ知識と技能と資格を活かし、多くの卒業生が地域産業で活躍しています。

取得している資格は、以下のようなものが挙げられます。

日本農業技術検定

フラワー装飾技能士

全商ビジネス文書実務検定

危険物取扱者 等



農業栽培実習

##### ・食品コース

農産物の生産・加工・販売を通して、安心・安全な食品づくりに関して総合的に学びます。

坂高マルシェでの実践的取組を通して、経営力を身につけることができます。

食品関係の専門性や資格を生かし、多くの卒業生が地域産業で活躍しています。

取得している資格は、以下のようなものが挙げられます。

食の検定食農3級

食品衛生責任者

危険物取扱者

全商ビジネス文書実務検定

全商情報処理検定3級 等



食品販売実習

## 機械・自動車科

### ・機械コース

機械コースでは専門的な知識や技術を身につけ、地場産業を支える若い担い手を育成します。

機械実習では、ものづくりを通して主体性や創造性、仲間との協調性を伸ばすことができます。

3Dプリンターやマシニングセンターなどの最先端設備を生かし、新しい技術が学べます。

取得している資格は、以下のようなものが挙げられます。

- 計算技術検定3級
- 危険物取扱者
- 第2級陸上特殊無線技士
- 技能検定3級機械加工
- ボイラー技士 等



機械溶接実習

### ・自動車コース

最新技術の集大成である自動車の整備技術を身につけます。

自動車工学をはじめ、機械、電気、電子制御について幅広く、総合的に学習します。

専門性を生かして、多くの卒業生が地域の産業を支える

人材として活躍しています。

取得している資格は、以下のようなものが挙げられます。

- 3級自動車整備士
- 危険物取扱者
- 2級ボイラー技士 等



自動車整備実習

## 電気・情報システム科

### ・電気コース

実践的な学びや様々な実習を通し、電気の専門的な知識・技術を身につけることができます。

課題研究ではものづくりを通して、独創性や課題解決力、そして仲間との協調性を磨きます。

卒業生の多くが、地域の電気工事業や製造業の分野で地域社会の発展に貢献しています。

取得している資格は、以下のようなものが挙げられます。

- 第1種・第2種電気工事士
- 第2級陸上・海上特殊無線技士
- 2級電気工事施工管理技術検定
- 危険物取扱者
- 消防設備士 甲種・乙種第4類 等



電気工事実習



#### ・情報システムコース

コンピュータのソフトウェア及びハードウェア、情報ネットワークなどの情報システムに関する基礎と専門技術を学べます。

工場などの自動化に対応した、多方面で活躍できる自動制御技術者を育成しており、地域の産業界から高く期待されています。

情報系の大学進学や専門学校進学にも力を入れており、プログラミングや各種制御系の技能は進学や就職に有利です。

取得している資格は、以下のようなものが挙げられます。

基本情報技術者

ITパスポート

第2種電気工事士

工事担任者（第一級、第二級デジタル通信）

ワープロ検定 等



情報制御実習

### ビジネス・生活デザイン科

#### ・ビジネスコース

企業経営や経理に必要な会計能力を身につけることができます。

経済・経営に関する知識や技能を身につけることで、商業や経済系の大学への進学が可能です。

体験的な活動を通して、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身につけることができます。

取得している資格は、以下のようなものが挙げられます。

日商簿記2級

全商検定1級9種目

(ビジネス文書・簿記・商業経済・珠算電卓・情報処理(ビジネス情報・プログラミング)・英語・会計実務) 等



ビジネス企画経営実習

#### ・生活デザインコース

家庭科の3分野「食物」「被服」「保育」に関して、基礎から専門的内容まで幅広く学ぶことができます。

調理実習や被服製作実習などの授業では、少人数授業やチームティーチングにより技術の習得をしっかりとサポートします。

コースでの学びを深めたい人には、大学や短大、専門学校などへの進学指導を行っており、資格検定は進学にも有利です。

取得している資格は、以下のようなものが挙げられます。

家庭科被服製作技術検定

家庭科食物調理技術検定

全商ビジネス文書実務検定

全商情報処理検定



生活調理実習

### 3. マイスター・ハイスクール事業

本校は上記のような特色ある8つのコースを持っている中で、昨年度より次世代の地域産業を担う人材を育成する文部科学省の「マイスター・ハイスクール」に指定されました。

本年度からは地元企業の監査役や大学の先生を招いて地



元の産業について学ぶ「ふくいの産業」が学校設定科目となり、地域や企業との連携を密にしながら、8コースが強みを生かした学科横断型の研究を進めています。

今後は、1年生で地元企業への訪問や出前研修を通し地域産業について学び、2年生ではその課題解決について考え、広いフィールドで活躍する企業へのグローバル研修に取り組みます。3年生では各自が1、2年生で学んだ内容を基にテーマを設け「課題研究」として取り組む計画としています。

本事業を通し、地域を支える人材として本校で身につけた知識・技術を生かし主体的に問題を見つけ、その解決に向け思考力・判断力・表現力を活用する中で、変化の激しい現代社会に対応できる人間力を身につけることが期待されています。



地域産業連携課題研究

#### 4. 本校における危険物取扱者試験への取組

地元には素材・化学・食品・医薬品技術やエンジニア（機械・電気・電子・半導体・制御）の業種を持つ企業が多く所在しており、特に現在は北陸新幹線開業に向けた求人により日本でも有数の求人率を誇っています。

本校では前述のとおりコース毎のカリキュラムに見合った資格取得に取り組んでおり、前述の業種に就くにあたり各コース共通の有効な資格として危険物取扱者の取得を勧めながら補習によりその取得率の向上を目指しています。

どのような資格でも「取得に向けた努力と取得したという結果は評価に値する」という共通理解ができていて、先に紹介した8コースの内、6コースが卒業までの3年間の中で取り組んでいます。このような実績が認められ、昨年度末には消防試験

研究センターから感謝状をいただきました。



消防試験研究センターから感謝状を授与

福井県での危険物取扱者試験は年度内に5回、消防設備士試験においては年度内に2回の受験機会が与えられ、5回中3回は本校での受験が可能となっており受験機会の促進に繋がっています。さらに、福井県では就職先で特に有効とされる資格には受験費用の一部を補助する制度があり、その取得率向上に役立っています。

本年度は、高校における10年に一度の教育課程変更の年となっています。コースによっては受験年月が例年と変わることや、指導方法の一部に変更があるなどの多少の変化はあるにしても、資格取得に対する共通理解ができているため、継続的な取得指導そのものが変わることはないものと理解しています。

本校における乙種全類取得者は令和元年度に3名、令和2年度に1名、令和3年度に4名となっており、以下に本校における過去3年間の取得状況を示します。

#### ■過去3年間の危険物取扱者試験の結果

年度 種別	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
乙1	8	3	38%	2	2	100%	4	3	75%
乙2	4	4	100%	6	3	50%	6	3	50%
乙3	4	4	100%	0	0	—	6	5	83%
乙4	229	26	11%	132	49	37%	136	21	15%
乙5	4	4	100%	6	1	17%	4	4	100%
乙6	12	6	50%	7	3	43%	7	4	57%
丙	165	67	41%	149	65	44%	131	54	41%

# 事業報告書

## 第1 概況

### 1 業務情報システム等の状況

令和3年3月1日に運用を開始した業務情報システムの円滑な稼働に努めつつ、追加の要望事項等のシステム構築を行うとともに、令和3年6月末までに旧システム機器の撤去を完了した。

また、当センターのホームページをスマートフォンに対応した画面構成にしたり、業務情報システムとの連携により電子申請を行いやすくする等の全面リニューアルを行い、令和4年3月17日に試行を始め令和4年4月1日から本格運用した。

### 2 試験事業の状況

#### (1) 危険物取扱者試験

危険物取扱者試験の受験申請者数は、380,486人で前年度（322,858人）から57,628人増加（+17.8%）し、平成21年度以降で初めての対前年度比増となった。

受験申請者の増加要因として、各支部がコロナ禍のなか、新たな試験会場の確保や試験日時・回数を増やすなど、試験の実施方法の工夫を進めるとともに、試験会場における徹底した感染防止対策により、計画的に安定した試験が実施できたことによるものである。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度は多くの試験が延期（中止）となり、受験申請者数は大幅に減少したが、令和3年度は、令和2年度に受験を控えていたと思われる方々の戻りもあったと推測される。

#### (2) 消防設備士試験

消防設備士試験の受験申請者数は、119,125人で、前年度（95,495人）から23,630人増加（+24.7%）し、センター設立以来最多の受験申請者数となった。

受験申請者の増加要因として、危険物取扱者試験と同様、試験の実施方法の工夫や徹底した感染防止対策とともに、令和2年度に受験を控えていたと思われる方々の戻りもあったと推測される。

#### (3) 予防技術検定

予防技術検定の受検申請者数は、9,645人で前年度（9,538人）から107人増加（+1.1%）した。

### 3 免状事業の状況

免状業務は、全ての都道府県と受託契約して、免状作成等の事務を行うとともに、39都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行った。

免状作成等の処理件数は、新規免状の作成、免状の書換え（写真書換えを含む。）、再交付免状の作成を含めて、危険物取扱者は283,873件で、前年度（242,686件）から41,187件増加（+17.0%）し、消防設備士は49,970件で、前年度（38,548件）から11,422件増加（+29.6%）した。

危険物取扱者及び消防設備士とも、受験申請者の大幅な増加に伴い、新規交付の処理件数が増加するとともに、新業務情報システムの稼働に向け、令和3年2月に旧業務情報システムの稼働を一時停止したことにより、本来であれば令和2年度に処理されるものが、令和3年度にずれ込んだことによるものである。

# 業務情報

## 令和3年度 事業報告及び 決算

## 第2 個別的事業

### 1 試験事業

(1) 危険物取扱者試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数 (単位：回)

	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
当年度	386	480	452	491	1,028	478	485	3,414	478	4,278
前年度比	+29	+22	+2	+21	+75	+6	+2	+128	+30	+187

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	380,486	342,492	149,368	43.6%
前年度比	+57,628	+50,162	+16,331	△1.9ポイント

(2) 消防設備士試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数

① 甲種 (単位：回)

	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	合計
当年度	115	137	124	130	155	123	784
前年度比	+12	+9	+10	+13	+13	+9	+66

② 乙種 (単位：回)

	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	合計
当年度	121	111	116	150	122	156	134	910
前年度比	+8	+8	+7	+6	+16	+4	+3	+52

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	119,125	91,826	34,648	37.7%
前年度比	+23,630	+17,333	+5,704	△1.2ポイント

(3) 予防技術検定を令和3年12月5日に全都道府県で、次のとおり実施した。

		受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
防火査察	当年度	4,773	4,548	1,711	37.6%
	前年度比	△254	△120	△1,416	△29.4ポイント
消防用設備等	当年度	2,622	2,506	1,093	43.6%
	前年度比	+68	+159	△9	△3.4ポイント
危険物	当年度	2,250	2,123	1,266	59.7%
	前年度比	+293	+306	+182	±0
合計	当年度	9,645	9,177	4,070	44.4%
	前年度比	+107	+345	△1,243	△15.8ポイント

- (4) 電子申請者数は、次のとおりであった。

		電子申請者数(人)	受験申請者数(人)	電子申請率
危険物取扱者	当年度	157,425	380,486	41.4%
	前年度比	+54,387	+57,628	+9.5ポイント
消防設備士	当年度	47,494	119,125	39.9%
	前年度比	+14,203	+23,630	+5ポイント
合計	当年度	204,919	499,611	41.0%
	前年度比	+68,590	+81,258	+8.4ポイント

- (5) 過去に出題した試験問題の公開について、令和3年5月19日に「試験問題の公開に係る検討委員会」において審議し、令和3年6月23日に、ホームページ上で公開している過去の出題問題の追加・更新を行った。

この結果、令和3年度末現在、危険物取扱者試験については180問、消防設備士試験については92問をホームページ上で公開している。

## 2 免状事業

- (1) 全都道府県の委託を受け、新規、書換え（写真書換えを含む）及び再交付免状の作成を行うとともに、免状データベースに登録した。

### ア 免状作成等の処理件数

（単位：件）

		新規交付	書換え		再交付	合計
			写真	写真以外		
危険物取扱者	当年度	153,021	118,857	1,912	10,083	283,873
	前年度比	+38,635	+2,729	+195	△372	+41,187
消防設備士	当年度	35,439	13,367	328	836	49,970
	前年度比	+10,915	+483	+24	±0	+11,422
合計	当年度	188,460	132,224	2,240	10,919	333,843
	前年度比	+49,550	+3,212	+219	△372	+52,609

※ 書換え（写真以外）については、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

- イ 免状データベースの登録件数の累計は、次のとおりとなった。

登録件数の累計(件)	
危険物取扱者	8,217,827
消防設備士	1,093,293
合計	9,311,120

- (2) 39都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行い、101,947人（危険物取扱者93,821人、消防設備士8,126人）に通知し、21,493人（21.1%）が写真書換えを申請した。

（受託都道府県）

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、滋賀県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- (3) 全都道府県との覚書により、免状データベースへの講習履歴の収録を次のとおり行った。

	講習履歴の収録件数(件)
危険物取扱者	228,957
消防設備士	104,587
合計	333,544

### 3 企画研究事業

- (1) 令和3年3月に運用を開始した業務情報システムの円滑な稼働に努めるとともに、国の行政手続きの見直し、オンライン化の方向性を踏まえ、利用者の利便性の向上や業務の効率化を進めた。

ア スマートフォンに対応した画面構成の導入や電子申請の申込みが容易となる新しいホームページの運用を開始した。

イ 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の受験申請について、電子申請が可能となる対象者を拡大するための検討に着手した。

- (2) 受験しやすい環境づくりモデル事業を次の支部で実施した。

モデル事業内容	実施支部
工業高校	岩手県、宮城県、群馬県、千葉県、中央試験センター、神奈川県、山梨県、長野県、三重県、滋賀県、大阪府、鳥取県、徳島県、高知県、鹿児島県、沖縄県
自衛隊	岩手県、長野県、石川県、大阪府

- (3) 危険物取扱者及び消防設備士の資格取得に積極的に取り組まれている学校や熱意をもって指導されている教諭に対し、その功績をたたえるため、感謝状を贈呈することとした。

令和3年度は、31の高等学校・専門学校と1名の教諭に感謝状を贈呈した。

- (4) 広報活動を次のとおり実施した。

ア 資格制度等に関する広報

試験・検定の案内パンフレットの他、広報ターゲットを明確にした大学生及び高校生向け受験促進パンフレット、資格試験広報ポスター、写真書換え啓発ポスターを作成して、関係機関等に配布し資格制度等の周知を図った。

(作成数量)

① 試験・検定の案内パンフレット	37,300部
② 資格試験広報ポスター	14,670枚
③ 大学生向け危険物取扱者試験受験促進パンフレット（甲種）	12,300部
④ 高校生向け危険物取扱者試験受験促進パンフレット	49,000部
⑤ 写真書換え啓発ポスター	11,490枚

(配布先)

高校、高専、大学、専門学校、事業所、都道府県、消防機関等

イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」を発行し、関係機関に配布した。

(作成数量) 隔月 3,100部

(配布先) 高校、高専、大学、専門学校、都道府県、消防機関等

ウ ホームページの活用

電子申請の案内や全国の試験実施日程等をお知らせするとともに、台風や豪雨災害、新型コロナウイルス感染症への対応による試験の延期等の緊急情報を迅速に提供した。

エ 消防関係の専門誌等を活用して広報活動を行った。

- (5) 「令和2年度版危険物取扱者・消防設備士 試験・免状統計表」を作成し配布した。

(作成数量) 320部

(配布先) 消防庁、都道府県

- (6) 役職員による個人情報の厳格な管理、利用の安全性の確保について徹底するとともに、受験者情報を扱うデータエントリ-委託業者に対する厳正な管理・監督の徹底を図った。

#### 4 その他事業

- (1) 支部監査（実地監査）及び会計監査人による支部監査は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、その実施を翌年度へ繰り越したが、書面による自己点検方式の監査を全支部で実施した。

- (2) 年度当初に開催を予定していた全国支部長会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ブロックごとにオンラインで開催し、令和3年度予算や受験しやすい環境づくりモデル事業、コロナ禍における試験事務の対応等について説明し、各支部から状況報告を受け意見交換を行った。

ブロック支部長会議についてもオンラインで開催し、令和4年度予算要求基準や受験申請者数の状況等について説明し、各支部からコロナ禍における試験の実施状況等について報告を受け意見交換を行った。

（オンラインブロック支部長会議）

ブロック名	幹事県	開催日	
		全国支部長会議	ブロック支部長会議
北海道・東北	北海道	令和3年4月20日	令和3年10月26日
関東・甲信越	新潟	令和3年4月23日	令和3年10月5日
中部	石川	令和3年4月20日	令和3年10月7日
近畿	兵庫	令和3年4月27日	令和3年11月9日
中国・四国	高知	令和3年4月27日	令和3年9月27日
九州	大分	令和3年4月19日	令和3年10月14日

- (3) 消防防災推進事業助成事業は、76事業を対象に計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で23事業が中止等となったため、53事業に対して事業助成を行った。

- (4) 関係官庁、関係機関及び諸団体との連絡調整を行った。

## 第3 評議員会及び理事会の開催に関する事項

### 1 評議員会

(1) 第17回評議員会（令和3年6月24日(木)開催）

理事の選任

安藤俊雄 氏、上関克也 氏、田中経康 氏、長谷川彰一 氏、原 悟志 氏

監事の選任

菅 俊一 氏

評議員の選任

菅原進一 氏、鈴木和男 氏、中林一樹 氏、安田正信 氏、吉田敏治 氏

令和2年度事業報告の報告及び令和2年度決算の承認

令和2年度公益目的支出計画実施報告書の報告

(2) 第18回評議員会（令和4年3月22日(火)開催）

理事の選任

田中敦仁 氏

一般財団法人消防試験研究センター評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正

### 2 理事会

(1) 第31回理事会（令和3年6月3日(木)開催）

理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告

令和2年度事業報告の承認及び令和2年度決算の決定

令和2年度公益目的支出計画実施報告書の承認

評議員会招集の決定

(2) 第32回理事会（令和3年6月25日(金)開催）

理事長の選定

長谷川彰一 氏

常務理事の選定

安藤俊雄 氏

(3) 第33回理事会（令和4年3月11日(金)開催）

理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告

令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算の承認

評議員会招集の決定

## 附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

# 令和3年度決算書

## 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	862,910,514	490,245,851	372,664,663
未収金	60,906,187	57,299,451	3,606,736
前払金	23,933,439	18,522,933	5,410,506
立替金	440	0	440
貯蔵品	14,368,099	12,291,127	2,076,972
流動資産合計	962,118,679	578,359,362	383,759,317
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
普通預金	808,014,042	808,014,042	0
投資有価証券	1,721,985,958	1,721,985,958	0
基本財産合計	2,530,000,000	2,530,000,000	0
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	5,696,400	17,720,600	△ 12,024,200
退職給付引当資産	352,763,836	335,165,880	17,597,956
減価償却引当資産	214,217,181	192,874,991	21,342,190
特定資産合計	572,677,417	545,761,471	26,915,946
(3) その他固定資産			
建物付属設備	3,083,620	2,969,247	114,373
什器備品	63,712,110	80,286,921	△ 16,574,811
ソフトウェア	357,433,663	431,074,337	△ 73,640,674
電話加入権	0	162,000	△ 162,000
敷金	20,867,750	20,907,750	△ 40,000
保証金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	445,127,143	535,430,255	△ 90,303,112
固定資産合計	3,547,804,560	3,611,191,726	△ 63,387,166
資産合計	4,509,923,239	4,189,551,088	320,372,151
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	42,172,661	60,772,128	△ 18,599,467
前受金	70,216,467	68,075,034	2,141,433
預り金	18,495,667	18,332,917	162,750
特別手当引当金	53,505,453	57,517,119	△ 4,011,666
流動負債合計	184,390,248	204,697,198	△ 20,306,950
<b>2 固定負債</b>			
役員退職慰労引当金	5,696,400	17,720,600	△ 12,024,200
退職給付引当金	352,763,836	335,165,880	17,597,956
固定負債合計	358,460,236	352,886,480	5,573,756
負債合計	542,850,484	557,583,678	△ 14,733,194
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
寄付金	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産合計	128,500,000	128,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(128,500,000)	(128,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
<b>2 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	(2,401,500,000)	(2,401,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(214,217,181)	(192,874,991)	(21,342,190)
正味財産合計	3,967,072,755	3,631,967,410	335,105,345
負債及び正味財産合計	4,509,923,239	4,189,551,088	320,372,151



# 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	16,735,566	15,024,401	1,711,165
基本財産受取利息	16,735,566	15,024,401	1,711,165
特定資産運用益	3,728	5,428	△ 1,700
特定資産受取利息	3,728	5,428	△ 1,700
受取試験手数料	2,403,098,900	2,012,564,700	390,534,200
危険物取扱者試験手数料	1,780,592,400	1,504,964,500	275,627,900
消防設備士試験手数料	567,530,000	453,233,600	114,296,400
予防技術検定手数料	54,976,500	54,366,600	609,900
受取免状受託料	576,272,784	475,209,532	101,063,252
危険物取扱者免状受託料	470,481,395	393,035,746	77,445,649
消防設備士免状受託料	91,807,248	68,481,087	23,326,161
写真書換促進業務受託料	10,983,577	11,316,765	△ 333,188
免状交付申請用封筒配布等業務受託料	3,000,564	2,375,934	624,630
雑収益	45,718,461	1,419,661	44,298,800
受取利息	9,002	8,198	804
証紙等手数料	236,339	284,663	△ 48,324
電子申請払込手数料	42,311,720	0	42,311,720
免状交付等手数料徴収事務受託料	1,122,000	1,122,000	0
雑収益	2,039,400	4,800	2,034,600
<b>経常収益計</b>	<b>3,041,829,439</b>	<b>2,504,223,722</b>	<b>537,605,717</b>
(2) 経常費用			
事業費	2,592,230,923	2,570,616,600	21,614,323
役員報酬	22,702,971	22,272,066	430,905
給料手当	908,458,719	923,924,862	△ 15,466,143
法定福利費	145,658,681	145,670,721	△ 12,040
福利厚生費	16,291,644	16,633,069	△ 341,425
役員退職慰労引当金繰入額	2,894,640	2,894,640	0
退職給付費用	39,807,408	39,908,965	△ 101,557
特別手当引当金繰入額	49,463,785	52,967,526	△ 3,503,741
試験監督員賃金	248,420,453	220,826,231	27,594,222
臨時雇賃金	44,718,660	40,528,502	4,190,158
諸謝金	9,999,074	8,653,680	1,345,394
事務所等賃借料	179,189,613	179,403,382	△ 213,769
試験会場賃借料	134,690,288	119,289,545	15,400,743
事業負担金	12,800,000	10,800,000	2,000,000
リース料	21,840,063	22,095,589	△ 255,526
光熱水料費	13,811,744	13,739,408	72,336
通信運搬費	185,802,727	191,329,813	△ 5,527,086
印刷製本費	122,932,363	118,442,528	4,489,835
委託費	86,769,098	194,847,330	△ 108,078,232
保守管理費	50,420,709	12,283,015	38,137,694
旅費交通費	13,273,892	14,057,026	△ 783,134
電子申請試験手数料収納費	43,709,005	31,104,032	12,604,973
消耗什器備品費	2,969,101	0	2,969,101
消耗品費	65,913,376	55,989,947	9,923,429
会議費	2,474,323	1,995,758	478,565
広告費	12,322,347	11,849,186	473,161
消防防災等推進事業助成金	20,069,406	21,792,380	△ 1,722,974
諸会費	497,664	603,042	△ 105,378
災害保険料	1,072,272	989,760	82,512
租税公課	17,847,243	32,857,611	△ 15,010,368
減価償却費	104,992,521	49,878,292	55,114,229
雑費	10,417,133	12,988,694	△ 2,571,561

業務  
情報  
information

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	91,840,070	93,475,918	△ 1,635,848
役員報酬	21,354,741	21,225,483	129,258
給料手当	31,354,522	32,689,056	△ 1,334,534
法定福利費	6,476,897	6,567,652	△ 90,755
福利厚生費	902,280	907,122	△ 4,842
役員退職慰労引当金繰入額	2,764,560	2,764,560	0
退職給付費用	660,628	733,393	△ 72,765
特別手当引当金繰入額	4,041,668	4,549,593	△ 507,925
諸謝金	1,812,070	1,572,546	239,524
事務所等賃借料	14,102,195	14,102,195	0
リース料	668,157	683,767	△ 15,610
光熱水料費	695,579	688,940	6,639
通信運搬費	654,351	672,643	△ 18,292
印刷製本費	374,768	475,739	△ 100,971
委託費	1,010,097	1,159,488	△ 149,391
保守管理費	530,680	592,416	△ 61,736
旅費交通費	125,599	262,357	△ 136,758
消耗品費	1,100,782	811,970	288,812
会議費	43,520	22,917	20,603
広告費	17,640	17,640	0
諸会費	45,036	66,258	△ 21,222
災害保険料	165,888	166,030	△ 142
租税公課	2,647,355	2,346,603	300,752
雑費	291,057	397,550	△ 106,493
経常費用計	2,684,070,993	2,664,092,518	19,978,475
評価損益等調整前当期経常増減額	357,758,446	△ 159,868,796	517,627,242
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	357,758,446	△ 159,868,796	517,627,242
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取持続化給付金等	0	8,000,000	△ 8,000,000
過年度損益修正額	0	1,611,202	△ 1,611,202
経常外収益計	0	9,611,202	△ 9,611,202
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1,629,491	0	1,629,491
建物付属設備除却損	2	0	2
什器備品除却損	524,289	0	524,289
ソフトウェア除却損	1,105,200	0	1,105,200
電話加入権減損損失	162,000	0	162,000
業務情報システム撤去費用	20,861,610	0	20,861,610
経常外費用計	22,653,101	0	22,653,101
当期経常外増減額	△ 22,653,101	9,611,202	△ 32,264,303
当期一般正味財産増減額	335,105,345	△ 150,257,594	485,362,939
一般正味財産期首残高	3,503,467,410	3,653,725,004	△ 150,257,594
一般正味財産期末残高	3,838,572,755	3,503,467,410	335,105,345
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産期末残高	128,500,000	128,500,000	0
III 正味財産期末残高	3,967,072,755	3,631,967,410	335,105,345

# 令和3年度の試験実施結果について —業務部—

当センターが令和3年度に実施した、危険物取扱者試験、消防設備士試験及び予防技術検定の実施結果は次のとおりです。

## 1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果の概要

危険物取扱者試験及び消防設備士試験の全国における試験実施回数及び受験申請者等の状況は(表1)のとおりです。危険物取扱者試験の受験申請者数は、ここ数年減少傾向を示していました。令和3年度は両試験共に増加しました。

■ 表1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果 (単位：回，人)

年度	区分	危険物取扱者試験	消防設備士試験	合計
令和元年度	試験実施回数	3,657	1,562	5,219
	申請者数	363,386	99,878	463,264
	受験者数	329,479	77,717	407,196
	合格者数	148,475	27,509	175,984
令和2年度	試験実施回数	4,091	1,576	5,667
	申請者数	322,858	95,495	418,353
	受験者数	292,330	74,493	366,823
	合格者数	133,037	28,944	161,981
令和3年度	試験実施回数	4,278	1,694	5,972
	申請者数	380,486	119,125	499,611
	受験者数	342,492	91,826	434,318
	合格者数	149,368	34,648	184,016
対前年度	試験実施回数	+ 187	+ 118	+ 305
	申請者数	+ 57,628	+ 23,630	+ 81,258
	受験者数	+ 50,162	+ 17,333	+ 67,495
	合格者数	+ 16,331	+ 5,704	+ 22,035

## 2 危険物取扱者試験の実施状況

### (1) 試験実施回数の状況 (表2)

試験実施回数は、4,278回で、前年度の4,091回に比べ187回増加しました。

■ 表2 危険物取扱者試験の種類別試験実施回数 (単位：回)

年度	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
令和元年度	329	404	410	419	816	418	427	2,894	434	3,657
令和2年度	357	458	450	470	953	472	483	3,286	448	4,091
令和3年度	386	480	452	491	1,028	478	485	3,414	478	4,278
対前年度	+ 29	+ 22	+ 2	+ 21	+ 75	+ 6	+ 2	+ 128	+ 30	+ 187

### (2) 種類別受験申請者の状況 (表3)

受験申請者数は380,486人と、前年度に比べ57,628人の増加となり、全ての種類の申請者に増加傾向が見られます。

乙種第4類は、ガソリン、灯油、重油等の一般的な危険物の取扱い等に必要な資格であることから、種類別受験申請者数ではその数が264,402人(全体の69.5%)と最も多くなっています。この傾向は例年どおりです。

■ 表3 危険物取扱者試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
令和元年度	申請者	22,765	11,912	11,504	13,084	248,667	13,375	13,005	311,547	29,074	363,386
	構成割合	6.3	3.3	3.2	3.6	68.4	3.7	3.6	85.7	8.0	100
令和2年度	申請者	21,036	9,517	9,117	11,034	225,233	10,815	11,379	277,095	24,727	322,858
	構成割合	6.5	2.9	2.8	3.4	69.8	3.3	3.5	85.8	7.7	100
令和3年度	申請者	26,774	11,652	10,816	13,622	264,402	13,578	13,874	327,944	25,768	380,486
	構成割合	7.0	3.1	2.8	3.6	69.5	3.6	3.6	86.2	6.8	100
対前年度	申請者	+5,738	+2,135	+1,699	+2,588	+39,169	+2,763	+2,495	+50,849	+1,041	+57,628

### (3) 種類別合格率の状況 (表4)

全体の合格率は43.6%であり、前年度と比較すると、1.9ポイントの減少でした。

種類ごとの合格率を見ると、甲種が39.6%、乙種第4類が36.1%と、例年同様他の種類と比較して低い値となっています。

■ 表4 危険物取扱者試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
令和元年度	受験者	19,540	11,465	11,114	12,535	221,867	12,862	12,573	282,416	27,523	329,479
	合格者	7,721	7,786	7,618	8,545	85,669	8,836	8,421	126,875	13,879	148,475
	合格率	39.5	67.9	68.5	68.2	38.6	68.7	67.0	44.9	50.4	45.1
令和2年度	受験者	17,957	9,190	8,777	10,612	200,876	10,393	11,041	250,889	23,484	292,330
	合格者	7,632	6,570	6,217	7,513	77,466	7,395	7,560	112,721	12,684	133,037
	合格率	42.5	71.5	70.8	70.8	38.6	71.2	68.5	44.9	54.0	45.5
令和3年度	受験者	22,835	11,168	10,385	13,056	234,481	12,977	13,370	295,437	24,220	342,492
	合格者	9,050	7,872	7,504	9,266	84,564	9,218	9,452	127,876	12,442	149,368
	合格率	39.6	70.5	72.3	71.0	36.1	71.0	70.7	43.3	51.4	43.6

### (4) 職業別受験状況 (表5-1、表5-2)

受験申請者の職業別構成(表5-1)を見ると、高校生が最も多く全体の27.1%を占めるなど、その割合は前年度とほぼ同様の傾向が見られますが、高校生の受験申請者数は2,094人の増加、その割合は4.2ポイントの減少でした(前年度は101,041人31.3%)。また、高校生の甲種受験申請者は935人(前年度865人)でした。

平成23年度、28年度と比較(表5-2)すると高校生の受験申請者が、その人数、割合ともに大きく減少していることや、ガソリンスタンド従業員の受験申請者数が減少傾向にあることがわかります。

■ 表5-1 危険物取扱者試験の職業別受験状況 (単位：人，%)

職業等	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
高校生	申請者	935	4,589	3,486	4,223	62,774	4,003	5,631	84,706	17,494	103,135	27.1
	受験者	911	4,539	3,432	4,176	60,697	3,948	5,570	82,362	16,804	100,077	
	合格者	184	2,763	2,230	2,549	13,106	2,467	3,282	26,397	7,631	34,212	
	合格率	20.2	60.9	65.0	61.0	21.6	62.5	58.9	32.0	45.4	34.2	
高校以外の学生、教育・研究機関	申請者	5,116	510	350	724	18,316	658	597	21,155	983	27,254	7.2
	受験者	4,611	487	339	692	16,379	633	572	19,102	927	24,640	
	合格者	2,066	369	243	521	7,891	468	452	9,944	603	12,613	
	合格率	44.8	75.8	71.7	75.3	48.2	73.9	79.0	52.1	65.1	52.4	
ガソリンスタンド	申請者	107	60	51	60	19,718	60	50	19,999	829	20,935	5.5
	受験者	91	52	48	57	17,180	54	50	17,441	745	18,277	
	合格者	26	35	35	40	4,188	40	39	4,377	380	4,783	
	合格率	28.6	67.3	72.9	70.2	24.4	74.1	78.0	25.1	51.0	26.2	
化学工業	申請者	7,460	730	995	938	12,294	1,449	696	17,102	43	24,605	6.5
	受験者	6,442	679	954	864	10,658	1,355	647	15,157	33	21,632	
	合格者	2,854	488	665	607	3,733	914	485	6,892	21	9,767	
	合格率	44.3	71.9	69.7	70.3	35.0	67.5	75.0	45.5	63.6	45.2	
危険物の卸売業、小売業	申請者	194	143	144	135	7,698	138	152	8,410	616	9,220	2.4
	受験者	149	135	142	127	6,625	130	136	7,295	527	7,971	
	合格者	41	108	113	90	2,482	98	104	2,995	345	3,381	
	合格率	27.5	80.0	79.6	70.9	37.5	75.4	76.5	41.1	65.5	42.4	
危険物の運送業	申請者	125	174	247	268	4,175	245	376	5,485	509	6,119	1.6
	受験者	84	164	234	250	3,491	232	356	4,727	434	5,245	
	合格者	21	133	171	171	1,120	161	261	2,017	272	2,310	
	合格率	25.0	81.1	73.1	68.4	32.1	69.4	73.3	42.7	62.7	44.0	
危険物を扱うその他の事業	申請者	5,329	1,519	2,096	1,957	53,219	2,125	1,762	62,678	1,409	69,416	18.2
	受験者	4,519	1,421	1,976	1,863	46,583	2,014	1,679	55,536	1,282	61,337	
	合格者	1,805	1,050	1,423	1,351	17,129	1,440	1,256	23,649	793	26,247	
	合格率	39.9	73.9	72.0	72.5	36.8	71.5	74.8	42.6	61.9	42.8	
公務員	申請者	1,427	989	851	1,409	13,672	1,137	1,062	19,120	393	20,940	5.5
	受験者	1,196	947	818	1,342	12,306	1,089	1,029	17,531	368	19,095	
	合格者	452	761	684	1,051	7,306	879	874	11,555	329	12,336	
	合格率	37.8	80.4	83.6	78.3	59.4	80.7	84.9	65.9	89.4	64.6	
警備業	申請者	329	122	111	178	3,084	152	150	3,797	120	4,246	1.1
	受験者	242	113	105	167	2,549	141	141	3,216	97	3,555	
	合格者	77	87	91	124	984	103	106	1,495	57	1,629	
	合格率	31.8	77.0	86.7	74.3	38.6	73.1	75.2	46.5	58.8	45.8	
ビル管理業	申請者	275	144	129	207	4,987	184	200	5,851	51	6,177	1.6
	受験者	202	134	114	192	3,869	173	189	4,671	42	4,915	
	合格者	66	108	93	145	1,806	148	150	2,450	37	2,553	
	合格率	32.7	80.6	81.6	75.5	46.7	85.6	79.4	52.5	88.1	51.9	
その他	申請者	5,004	2,560	2,187	3,324	59,889	3,212	2,961	74,133	2,921	82,058	21.6
	受験者	3,975	2,392	2,063	3,136	50,116	3,003	2,775	63,485	2,597	70,057	
	合格者	1,335	1,901	1,650	2,492	23,836	2,362	2,283	34,524	1,824	37,683	
	合格率	33.6	79.5	80.0	79.5	47.6	78.7	82.3	54.4	70.2	53.8	
未入力	申請者	473	112	169	199	4,576	215	237	5,508	400	6,381	1.7
	受験者	413	105	160	190	4,028	205	226	4,914	364	5,691	
	合格者	123	69	106	125	983	138	160	1,581	150	1,854	
	合格率	29.8	65.7	66.3	65.8	24.4	67.3	70.8	32.2	41.2	32.6	
合計	申請者	26,774	11,652	10,816	13,622	264,402	13,578	13,874	327,944	25,768	380,486	100
	受験者	22,835	11,168	10,385	13,056	234,481	12,977	13,370	295,437	24,220	342,492	
	合格者	9,050	7,872	7,504	9,266	84,564	9,218	9,452	127,876	12,442	149,368	
	合格率	39.6	70.5	72.3	71.0	36.1	71.0	70.7	43.3	51.4	43.6	

■ 表5-2 危険物取扱者試験の職業別受験申請者数の推移 (単位：人，%)

年度	区分	高校生	高校生以外	ガソリンスタンド	化学工業	危険物卸・小売業	危険物の運送業	危険物を扱うその他の事業	公務員	警備業	ビル管理業	その他	未入力	合計
平成23年度	申請者数	199,201	35,640	28,320	27,291	8,640	6,302	76,494	19,586	-	-	92,841	7,536	501,851
	構成割合	39.7	7.1	5.6	5.4	1.7	1.3	15.2	3.9	-	-	18.5	1.5	100
平成28年度	申請者数	141,325	27,602	26,117	25,222	10,045	6,506	77,449	21,018	-	-	86,841	9,214	431,339
	構成割合	32.8	6.4	6.1	5.8	2.3	1.5	18.0	4.9	-	-	20.1	2.1	100
令和3年度	申請者数	103,135	27,254	20,935	24,605	9,220	6,119	69,416	20,940	4,246	6,177	82,058	6,381	380,486
	構成割合	27.1	7.2	5.5	6.5	2.4	1.6	18.2	5.5	1.1	1.6	21.6	1.7	100

(5) 年代別受験状況 (表6)

高校生の受験申請者が多数を占めることから、20歳代未満の受験申請者が32.6%と高い値となっています。年齢別構成割合は、前年度とほぼ同様の傾向を示しています。今後、少子高齢化の影響により、その割合が変化していくことが予想されます。

合格率を年代別に見ると、全体的には60歳代までは年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表6 危険物取扱者試験の年代別受験状況

(単位：人，%)

年代	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
20代未満	申請者	1,319	4,907	3,827	4,662	80,558	4,441	6,011	104,406	18,492	124,217	32.6
	受験者	1,275	4,846	3,762	4,599	76,888	4,371	5,939	100,405	17,739	119,419	
	合格者	307	2,987	2,447	2,835	18,532	2,739	3,551	33,091	8,141	41,539	
	合格率	24.1	61.6	65.1	61.6	24.1	62.7	59.8	33.0	45.9	36.8	
20代	申請者	13,529	1,742	1,734	2,443	70,403	2,446	2,013	80,781	2,009	96,319	25.3
	受験者	12,011	1,629	1,649	2,299	60,990	2,311	1,895	70,773	1,789	84,573	
	合格者	5,765	1,214	1,226	1,703	26,017	1,699	1,439	33,298	1,108	40,171	
	合格率	48.0	74.5	74.4	74.1	42.7	73.5	75.9	47.0	61.9	49.9	
30代	申請者	5,460	1,723	1,825	2,328	44,881	2,452	2,053	55,262	1,584	62,306	16.4
	受験者	4,379	1,623	1,720	2,206	38,215	2,297	1,924	47,985	1,410	53,774	
	合格者	1,533	1,283	1,323	1,717	15,440	1,740	1,533	23,036	922	25,491	
	合格率	35.0	79.1	76.9	77.8	40.4	75.8	79.7	48.0	65.4	50.0	
40代	申請者	3,742	1,844	1,948	2,306	38,796	2,403	2,130	49,427	1,837	55,006	14.5
	受験者	2,966	1,714	1,851	2,174	33,072	2,266	2,036	43,113	1,648	47,727	
	合格者	865	1,322	1,418	1,679	13,226	1,706	1,653	21,004	1,139	23,008	
	合格率	29.2	77.1	76.6	77.2	40.0	75.3	81.2	48.7	69.1	50.8	
50代	申請者	2,174	1,178	1,222	1,508	22,918	1,476	1,351	29,653	1,333	33,160	8.7
	受験者	1,764	1,112	1,150	1,422	19,432	1,389	1,270	25,775	1,189	28,728	
	合格者	455	866	884	1,062	8,350	1,065	1,016	13,243	818	14,516	
	合格率	25.8	77.9	76.9	74.7	43.0	76.7	80.0	51.4	68.8	54.4	
60代	申請者	488	231	238	342	6,167	327	294	7,599	454	8,541	2.2
	受験者	390	218	233	324	5,316	312	286	6,689	393	7,472	
	合格者	116	178	192	249	2,768	250	245	3,882	283	4,281	
	合格率	29.7	81.7	82.4	76.9	52.1	80.1	85.7	58.0	72.0	61.7	
70代以上	申請者	62	27	22	33	679	33	22	816	59	937	0.2
	受験者	50	26	20	32	568	31	20	697	52	799	
	合格者	9	22	14	21	231	19	15	322	31	362	
	合格率	18.0	84.6	70.0	65.6	40.7	61.3	75.0	46.2	59.6	52.4	
合計	申請者	26,774	11,652	10,816	13,622	264,402	13,578	13,874	327,944	25,768	380,486	100
	受験者	22,835	11,168	10,385	13,056	234,481	12,977	13,370	295,437	24,220	342,492	
	合格者	9,050	7,872	7,504	9,266	84,564	9,218	9,452	127,876	12,442	149,368	
	合格率	39.6	70.5	72.3	71.0	36.1	71.0	70.7	43.3	51.4	43.6	

3 消防設備士試験の実施状況

(1) 試験実施回数の状況 (表7)

試験実施回数は、1,694回で前年度の1,576回に比べ118回増加しました。

■ 表7 消防設備士試験の種類別試験実施回数

(単位：回)

年度	甲種							乙種							合計	
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小計
令和元年度	106	124	115	118	137	115	715	116	108	105	133	112	149	124	847	1,562
令和2年度	103	128	114	117	142	114	718	113	103	109	144	106	152	131	858	1,576
令和3年度	115	137	124	130	155	123	784	121	111	116	150	122	156	134	910	1,694
対前年度	+12	+9	+10	+13	+13	+9	+66	+8	+8	+7	+6	+16	+4	+3	+52	+118

(2) 種類別受験申請者の状況 (表8)

受験申請者は119,125人であり、前年度の95,495人に比べ23,630人の増加となりました。

■ 表8 消防設備士試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
令和元年度	申請者	1,299	13,899	3,835	3,902	23,080	3,958	49,973	2,748	769	934	11,421	1,176	26,839	6,018	49,905	99,878
	構成割合	1.3	13.9	3.8	3.9	23.1	4.0	50.0	2.8	0.8	0.9	11.4	1.2	26.9	6.0	50.0	100
令和2年度	申請者	1,103	13,706	3,636	3,622	21,977	3,510	47,554	2,457	623	824	10,869	1,064	26,361	5,743	47,941	95,495
	構成割合	1.2	14.4	3.8	3.8	23.0	3.7	49.8	2.6	0.7	0.9	11.4	1.1	27.6	6.0	50.2	100
令和3年度	申請者	1,509	16,705	4,768	5,078	27,711	4,679	60,450	2,844	858	1,604	11,834	1,402	32,888	7,245	58,675	119,125
	構成割合	1.3	14.0	4.0	4.3	23.3	3.9	50.7	2.4	0.7	1.3	9.9	1.2	27.6	6.1	49.3	100
対前年度		+406	+2,999	+1,132	+1,456	+5,734	+1,169	+12,896	+387	+235	+780	+965	+338	+6,527	+1,502	+10,734	+23,630

(3) 種類別合格率の状況 (表9)

全体の合格率は37.7%であり、前年度と比較すると、1.2ポイントの減少でした。

■ 表9 消防設備士試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
令和元年度	受験者	1,087	10,036	3,023	3,072	17,361	3,205	37,784	2,169	660	799	8,849	988	21,333	5,135	39,933	77,717
	合格者	232	2,641	1,095	1,177	5,831	1,093	12,069	571	246	220	2,923	355	8,176	2,949	15,440	27,509
	合格率	21.3	26.3	36.2	38.3	33.6	34.1	31.9	26.3	37.3	27.5	33.0	35.9	38.3	57.4	38.7	35.4
令和2年度	受験者	918	9,949	2,895	2,893	16,554	2,888	36,097	1,917	517	707	8,492	882	20,955	4,926	38,396	74,493
	合格者	248	3,104	960	1,150	6,159	1,103	12,724	647	194	241	3,007	378	8,944	2,809	16,220	28,944
	合格率	27.0	31.2	33.2	39.8	37.2	38.2	35.2	33.8	37.5	34.1	35.4	42.9	42.7	57.0	42.2	38.9
令和3年度	受験者	1,262	12,126	3,791	4,018	20,877	3,720	45,794	2,143	706	1,304	8,958	1,136	25,634	6,151	46,032	91,826
	合格者	382	3,436	1,370	1,522	7,753	1,407	15,870	761	261	435	3,138	437	10,240	3,506	18,778	34,648
	合格率	30.3	28.3	36.1	37.9	37.1	37.8	34.7	35.5	37.0	33.4	35.0	38.5	40.0	57.0	40.8	37.7

(4) 筆記試験、実技試験の合格者の状況 (表10)

消防設備士試験には、筆記試験と実技試験の2つの試験がありますが、筆記試験の合格率は57.6%でした。筆記試験合格者のうち実技試験にも合格した者の全受験者に対する割合（最終合格率）は37.7%でした。

■ 表10 消防設備士試験の筆記試験、実技試験の合格状況 (単位：人，%)

試験種類	区分	甲 種							乙 種							合計
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		
申請者数		1,509	16,705	4,768	5,078	27,711	4,679	2,844	858	1,604	11,834	1,402	32,888	7,245	119,125	
受験者数		1,262	12,126	3,791	4,018	20,877	3,720	2,143	706	1,304	8,958	1,136	25,634	6,151	91,826	
筆 記	合格者数	382	6,002	2,341	2,608	11,631	2,115	1,202	444	730	5,188	667	15,641	3,910	52,861	
	合格率	30.3	49.5	61.8	64.9	55.7	56.9	56.1	62.9	56.0	57.9	58.7	61.0	63.6	57.6	
実 技	合格者数	—	3,436	1,370	1,522	7,753	1,407	761	261	435	3,138	437	10,233	808	31,561	
	合格率	—	57.2	58.5	58.4	66.7	66.5	63.3	58.8	59.6	60.5	65.5	65.4	20.7	59.7	
最 終	合格者数	382	3,436	1,370	1,522	7,753	1,407	761	261	435	3,138	437	10,240	3,506	34,648	
	合格率	30.3	28.3	36.1	37.9	37.1	37.8	35.5	37.0	33.4	35.0	38.5	40.0	57.0	37.7	

(5) 職業別受験状況 (表11-1、表11-2)

受験申請者の職業のうち、最も多い職業は消防設備業であり、電気工事業、ビル管理業、管工事業がこれに次いで多くの割合を占めています。この傾向はほぼ例年どおりであり、これらの職業の従事者で全体の過半数を占めています。

職業別受験申請者数の推移 (表11-2) については、ここ数年その構成割合に大きな変化は認められません。

■ 表11-1 消防設備士試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
学 生	申請者	0	142	4	11	913	23	1,093	74	7	7	695	7	829	659	2,278	3,371	2.8
	受験者	0	113	4	10	803	22	952	65	6	5	576	7	705	622	1,986	2,938	
	合格者	0	30	1	4	290	8	333	16	2	2	168	5	259	268	720	1,053	
	合格率	0.0	26.6	25.0	40.0	36.1	36.4	35.0	24.6	33.3	40.0	29.2	71.4	36.7	43.1	36.3	35.8	
消防設備業	申請者	715	3,836	2,083	2,193	4,978	2,206	16,011	313	99	187	773	206	6,504	934	9,016	25,027	21.0
	受験者	604	2,875	1,645	1,703	3,954	1,713	12,494	244	90	140	606	164	5,101	763	7,108	19,602	
	合格者	164	768	484	501	1,195	452	3,564	67	37	48	175	55	1,473	405	2,260	5,824	
	合格率	27.2	26.7	29.4	29.4	30.2	26.4	28.5	27.5	41.1	34.3	28.9	33.5	28.9	53.1	31.8	29.7	
電気工事業	申請者	85	724	225	392	9,679	340	11,445	90	17	120	1,054	62	2,337	1,616	5,296	16,741	14.1
	受験者	59	520	190	307	7,130	263	8,469	74	15	96	775	46	1,757	1,324	4,087	12,556	
	合格者	18	176	62	91	2,015	98	2,460	21	5	30	192	16	599	641	1,504	3,964	
	合格率	30.5	33.9	32.6	29.6	28.3	37.3	29.0	28.4	33.3	31.3	24.8	34.8	34.1	48.4	36.8	31.6	
管工事業	申請者	68	6,573	666	512	891	173	8,883	270	20	36	140	18	1,186	124	1,794	10,677	9.0
	受験者	50	4,620	500	401	601	133	6,305	191	14	28	98	15	880	107	1,333	7,638	
	合格者	13	870	163	130	209	57	1,442	38	4	3	33	6	312	68	464	1,906	
	合格率	26.0	18.8	32.6	32.4	34.8	42.9	22.9	19.9	28.6	10.7	33.7	40.0	35.5	63.6	34.8	25.0	
建築業	申請者	53	1,545	248	247	1,789	175	4,057	129	32	106	458	44	1,424	242	2,435	6,492	5.4
	受験者	47	1,075	181	192	1,183	136	2,814	78	22	86	302	31	1,021	194	1,734	4,548	
	合格者	14	336	61	76	448	58	993	24	7	16	86	8	427	104	672	1,665	
	合格率	29.8	31.3	33.7	39.6	37.9	42.7	35.3	30.8	31.8	18.6	28.5	25.8	41.8	53.6	38.8	36.6	
ビル管理業	申請者	155	1,184	513	559	2,940	524	5,875	403	136	193	1,858	265	3,914	981	7,750	13,625	11.4
	受験者	135	869	419	442	2,166	419	4,450	311	106	150	1,355	211	2,921	856	5,910	10,360	
	合格者	40	373	185	225	1,003	202	2,028	133	33	72	475	85	1,161	588	2,547	4,575	
	合格率	29.6	42.9	44.2	50.9	46.3	48.2	45.6	42.8	31.1	48.0	35.1	40.3	39.8	68.7	43.1	44.2	
ビル整備業	申請者	4	60	15	21	82	23	205	14	4	5	90	8	198	34	353	558	0.5
	受験者	4	39	12	15	59	16	145	11	4	3	66	6	147	28	265	410	
	合格者	0	15	7	7	18	4	51	3	1	1	21	3	51	20	100	151	
	合格率	0	38.5	58.3	46.7	30.5	25.0	35.2	27.3	25.0	33.3	31.8	50.0	34.7	71.4	37.7	36.8	
公務員	申請者	118	517	220	255	1,055	327	2,492	241	77	91	915	196	2,229	450	4,199	6,691	5.6
	受験者	106	430	192	229	879	278	2,114	182	68	79	726	169	1,866	376	3,466	5,580	
	合格者	59	250	113	146	562	179	1,309	103	35	47	336	85	970	258	1,834	3,143	
	合格率	55.7	58.1	58.9	63.8	63.9	64.4	61.9	56.6	51.5	59.5	46.3	50.3	52.0	68.6	52.9	56.3	
その他	申請者	301	1,953	764	834	5,027	853	9,732	1,283	453	845	5,740	588	13,881	2,095	24,885	34,617	29.1
	受験者	249	1,463	624	678	3,838	710	7,562	966	372	706	4,373	481	10,929	1,792	19,619	27,181	
	合格者	74	589	291	331	1,917	339	3,541	350	137	214	1,630	173	4,894	1,106	8,504	12,045	
	合格率	29.7	40.3	46.6	48.8	50.0	47.8	46.8	36.2	36.8	30.3	37.3	36.0	44.8	61.7	43.3	44.3	
未入力	申請者	10	171	30	54	357	35	657	27	13	14	111	8	386	110	669	1,326	1.1
	受験者	8	122	24	41	264	30	489	21	9	11	81	6	307	89	524	1,013	
	合格者	0	29	3	11	96	10	149	6	0	2	22	1	94	48	173	322	
	合格率	0	23.8	12.5	26.8	36.4	33.3	30.5	28.6	0	18.2	27.2	16.7	30.6	53.9	33.0	31.8	
合 計	申請者	1,509	16,705	4,768	5,078	27,711	4,679	60,450	2,844	858	1,604	11,834	1,402	32,888	7,245	58,675	119,125	100
	受験者	1,262	12,126	3,791	4,018	20,877	3,720	45,794	2,143	706	1,304	8,958	1,136	25,634	6,151	46,032	91,826	
	合格者	382	3,436	1,370	1,522	7,753	1,407	15,870	761	261	435	3,138	437	10,240	3,506	18,778	34,648	
	合格率	30.3	28.3	36.1	37.9	37.1	37.8	34.7	35.5	37.0	33.4	35.0	38.5	39.9	57.0	40.8	37.7	

■ 表11-2 消防設備士試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	学 生	消防設備業	電気工事業	管工事業	建築業	ビル管理業	ビル整備業	公務員	その他	未入力	合計
平成23年度	申請者数	5,460	20,550	13,780	8,499	4,052	12,093	382	5,451	31,184	1,218	102,669
	構成割合	5.3	20.0	13.4	8.3	3.9	11.8	0.4	5.3	30.4	1.2	100
平成28年度	申請者数	4,248	22,063	15,568	9,684	5,395	12,730	443	6,421	30,458	1,274	108,284
	構成割合	3.9	20.4	14.4	8.9	5.0	11.8	0.4	5.9	28.1	1.2	100
令和3年度	申請者数	3,371	25,027	16,741	10,677	6,492	13,625	558	6,691	34,617	1,326	119,125
	構成割合	2.8	21.0	14.1	9.0	5.4	11.4	0.5	5.6	29.1	1.1	100



(6) 年代別受験状況 (表12)

年代別に見た場合、20歳代未満の受験申請者割合は2.6%であり、危険物取扱者試験のように、20歳代未満の受験申請者が際立って多いことはありません。30歳代の割合が最も多く27.2%を占め、40歳代、20歳代の割合がこれに続きます。

年代別合格率は、危険物取扱者試験と同じく、全体的には60歳代までは概ね年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■表12 消防設備士試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲種							乙種							合計	申請者の構成割合	
		特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小計
20代未満	申請者	1	212	8	10	865	11	1,107	42	4	9	384	2	843	651	1,935	3,042	2.6
	受験者	1	181	8	10	750	11	961	34	3	8	323	2	733	612	1,715	2,676	
	合格者	0	20	2	2	207	5	236	4	0	0	58	2	138	245	447	683	
	合格率	0	11.1	25.0	20.0	27.6	45.5	24.6	11.8	0	0	18.0	100	18.8	40.0	26.1	25.5	
20代	申請者	98	4,942	742	678	8,005	555	15,020	615	79	221	2,447	163	8,562	1,350	13,437	28,457	23.9
	受験者	79	3,636	578	537	6,065	434	11,329	464	64	171	1,819	135	6,719	1,098	10,470	21,799	
	合格者	29	942	185	197	2,072	157	3,582	140	23	43	590	57	2,352	566	3,771	7,353	
	合格率	36.7	25.9	32.0	36.7	34.2	36.2	31.6	30.2	35.9	25.2	32.4	42.2	35.0	51.6	36.0	33.7	
30代	申請者	357	4,882	1,493	1,567	7,725	1,472	17,496	758	225	420	2,815	271	8,663	1,799	14,951	32,447	27.2
	受験者	301	3,443	1,164	1,228	5,631	1,153	12,920	564	183	336	2,083	212	6,738	1,467	11,583	24,503	
	合格者	110	1,018	435	467	2,111	417	4,558	196	69	108	739	87	2,790	868	4,857	9,415	
	合格率	36.5	29.6	37.4	38.0	37.5	36.2	35.3	34.8	37.7	32.1	35.5	41.0	41.4	59.2	41.9	38.4	
40代	申請者	480	4,115	1,445	1,668	6,634	1,569	15,911	709	243	527	2,911	453	8,355	1,860	15,058	30,969	26.0
	受験者	401	2,955	1,166	1,312	5,002	1,246	12,082	531	198	429	2,179	361	6,354	1,595	11,647	23,729	
	合格者	120	892	416	482	1,967	464	4,341	197	74	146	809	125	2,740	996	5,087	9,428	
	合格率	29.9	30.2	35.7	36.7	39.3	37.2	35.9	37.1	37.4	34.0	37.1	34.6	43.1	62.5	43.7	39.7	
50代	申請者	410	2,112	832	905	3,532	816	8,607	538	234	331	2,331	364	5,130	1,221	10,149	18,756	15.7
	受験者	344	1,566	665	729	2,660	661	6,625	413	195	275	1,784	300	3,994	1,051	8,012	14,637	
	合格者	96	459	255	290	1,076	263	2,439	164	67	95	678	121	1,736	632	3,493	5,932	
	合格率	27.9	29.3	38.4	39.8	40.5	39.8	36.8	39.7	34.4	34.6	38.0	40.3	43.5	60.1	43.6	40.5	
60代	申請者	138	374	219	226	839	218	2,014	161	65	90	878	128	1,200	319	2,841	4,855	4.1
	受験者	116	290	186	183	674	182	1,631	122	57	79	715	105	988	289	2,355	3,986	
	合格者	23	98	71	73	289	88	642	53	28	39	247	42	453	177	1,039	1,681	
	合格率	19.8	33.8	38.2	39.9	42.9	48.4	39.4	43.4	49.1	49.4	34.6	40.0	45.9	61.3	44.1	42.2	
70代以上	申請者	25	68	29	24	111	38	295	21	8	6	68	21	135	45	304	599	0.5
	受験者	20	55	24	19	95	33	246	15	6	6	55	21	108	39	250	496	
	合格者	4	7	6	11	31	13	72	7	0	4	17	3	31	22	84	156	
	合格率	20.0	12.7	25.0	57.9	32.6	39.4	29.3	46.7	0	66.7	30.9	14.3	28.7	56.4	33.6	31.5	
合計	申請者	1,509	16,705	4,768	5,078	27,711	4,679	60,450	2,844	858	1,604	11,834	1,402	32,888	7,245	58,675	119,125	100
	受験者	1,262	12,126	3,791	4,018	20,877	3,720	45,794	2,143	706	1,304	8,958	1,136	25,634	6,151	46,032	91,826	
	合格者	382	3,436	1,370	1,522	7,753	1,407	15,870	761	261	435	3,138	437	10,240	3,506	18,778	34,648	
	合格率	30.3	28.3	36.1	37.9	37.1	37.8	34.7	35.5	37.0	33.4	35.0	38.5	40.0	57.0	40.8	37.7	

4 予防技術検定の実施状況

予防技術検定は、予防技術資格者制度の発足に伴い、平成17年度から各年度1回ずつ全国一斉に実施しています。受験申請者数は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、風邪等の症状により前年度の受験を延期し、令和3年度の検定に振替えた受験申請者を含め9,645人と、前年度と比べ107人増加しました。

■表13 予防技術検定の実施状況 (単位：人，%)

実施回	年度	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第12回	平成28年度	8,333	7,813	4,556	58.3
第13回	平成29年度	8,967	8,447	4,001	47.4
第14回	平成30年度	9,261	8,752	4,297	49.1
第15回	令和元年度	7,904	7,382	4,104	55.6
第16回	令和2年度	9,538	8,832	5,313	60.2
第17回	令和3年度	9,645	9,177	4,070	44.4

# 令和3年度の免状作成等の状況について —免状部—

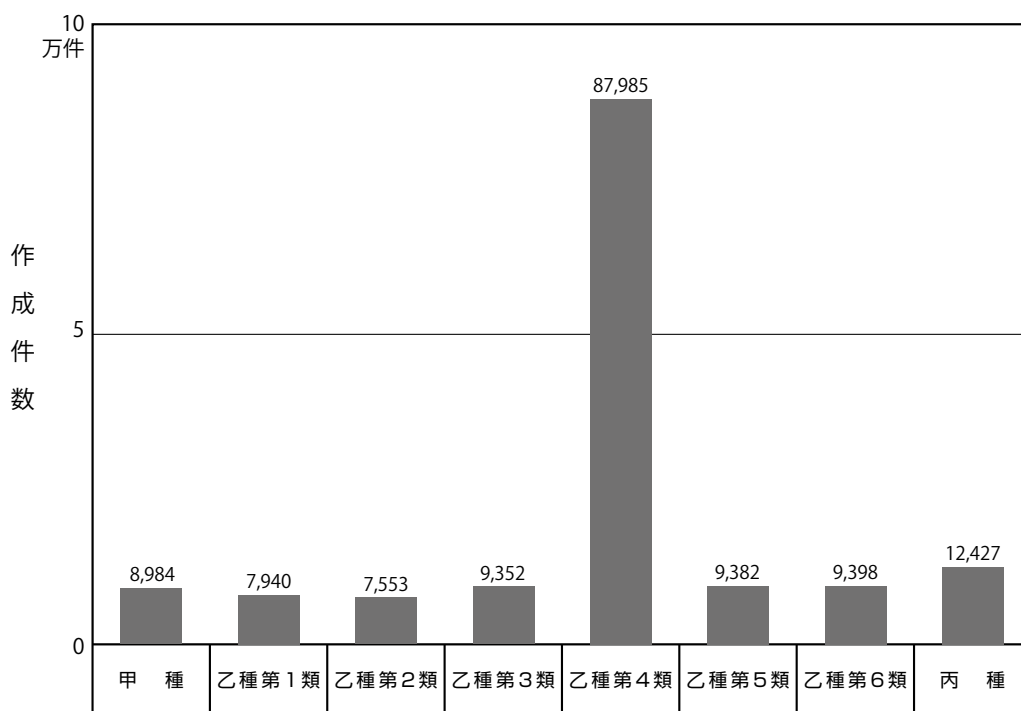
当センターが、令和3年度に都道府県から受託して作成した免状等の状況は、次のとおりです。

## 1 新規免状作成状況

### (1) 危険物取扱者

危険物取扱者の新規免状作成件数は、図1のとおり、令和2年度と比べて33.8%増の15万3千21件となっています。

■図1 令和3年度 危険物取扱者新規免状作成件数

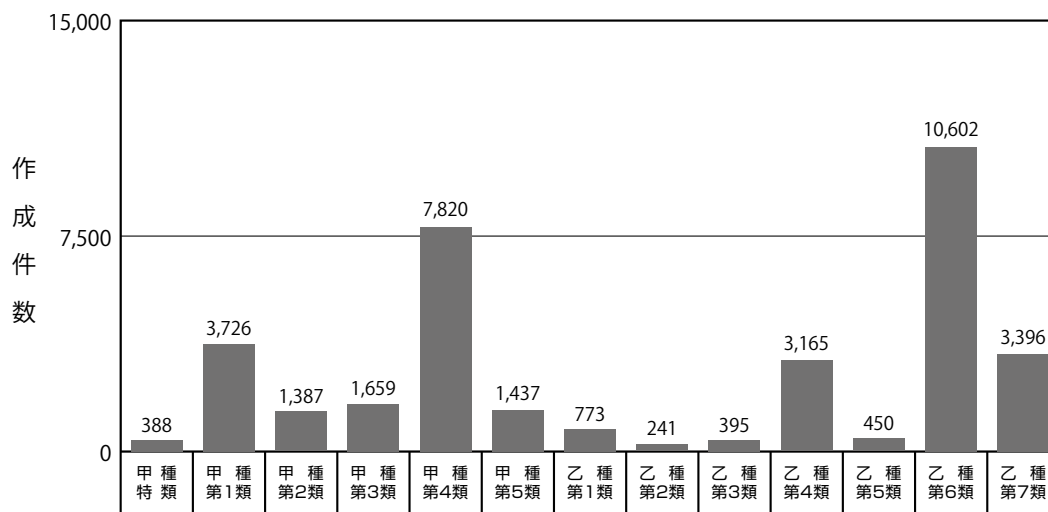


年度	甲種	乙種						丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
令和2年度	6,456	5,625	5,342	6,475	66,778	6,377	6,476	10,857	114,386
令和3年度	8,984	7,940	7,553	9,352	87,985	9,382	9,398	12,427	153,021
増減率	39.2%	41.2%	41.4%	44.4%	31.8%	47.1%	45.1%	14.5%	33.8%

## (2) 消防設備士

消防設備士の新規免状作成件数は、図2のとおり、令和2年度と比べて44.5%増の3万5千439件となっています。

■図2 令和3年度 消防設備士新規免状作成件数



年度	甲種					乙種							合計	
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		第7類
令和2年度	185	2,470	845	898	5,228	881	522	178	201	2,555	290	7,574	2,697	24,524
令和3年度	388	3,726	1,387	1,659	7,820	1,437	773	241	395	3,165	450	10,602	3,396	35,439
増減率	109.7%	50.9%	64.1%	84.7%	49.6%	63.1%	48.1%	35.4%	96.5%	23.9%	55.2%	40.0%	25.9%	44.5%

## 2 免状処理状況の推移

昭和63年度から令和3年度までの免状処理状況の推移は、図3、図4、表1及び表2のとおりです。過去10年間の推移をみると次のとおりです。

### (1) 新規

ア 危険物取扱者は、平成23年度19万7千942件をピークに19万件台から14万件台で推移していましたが、令和2年度は11万件台と大きく減少しました。

令和3年度は、前年度に比べ33.8%増の15万3千21件となっています。

イ 消防設備士は平成26年度の2万9千145件をピークに2万件台で推移していましたが、令和3年度は前年度に比べ44.5%増の3万5千439件となっています。これは統計を始めた昭和63年度から初の3万件台で最高値を記録しました。

### (2) 写真書換え

ア 危険物取扱者は、平成23年度の13万7千460件をピークに減少傾向にありましたが、平成29年度から微増でした。令和3年度は前年度に比べ2.3%増の11万8千857件となっています。

イ 消防設備士は危険物取扱者と同様に平成23年度の1万3千80件をピークに1万2千件台から1万1千件台で推移しています。令和3年度は前年度に比べ、3.7%増の1万3千367件となっています。

### (3) 本籍等の書換え

ア 危険物取扱者は、平成25年度から新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を表示しています。

令和3年度は、前年度に比べ、11.4%減の1千912件となっています。

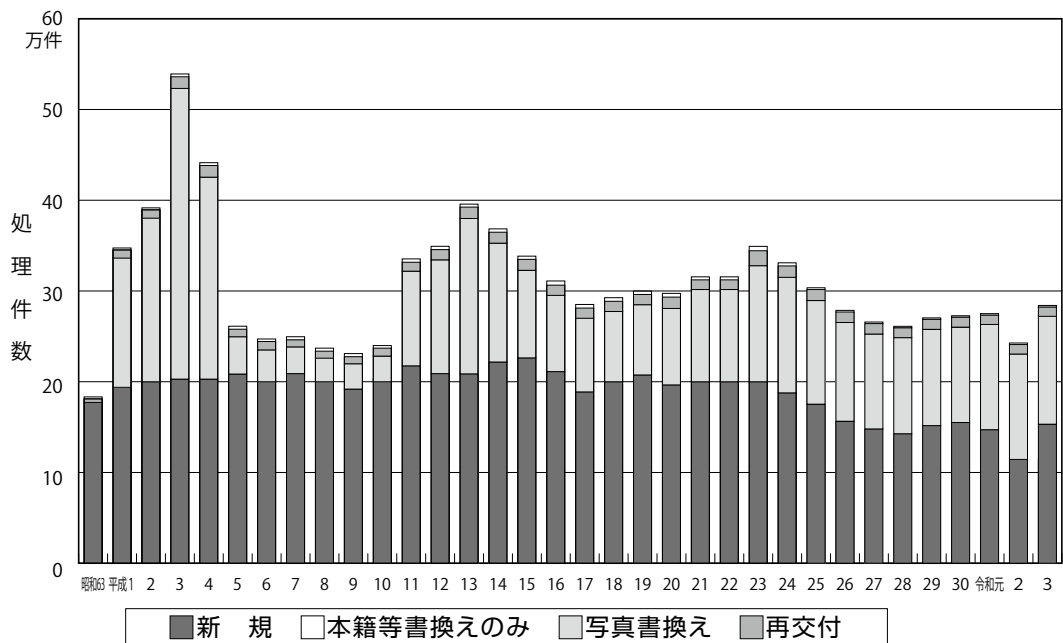
イ 消防設備士も危険物取扱者と同様の表示です。令和3年度は前年度に比べ7.9%増の328件となっています。

### (4) 再交付

ア 危険物取扱者は、平成23年度の1万4千628件をピークに1万件台で推移しています。令和3年度は前年度に比べ3.6%減の1万83件となっています。

イ 消防設備士は900件前後で推移しています。令和3年度は前年度と全く同じ836件となっています。

■図3 危険物取扱者の免状処理状況の推移



■図4 消防設備士の免状処理状況の推移

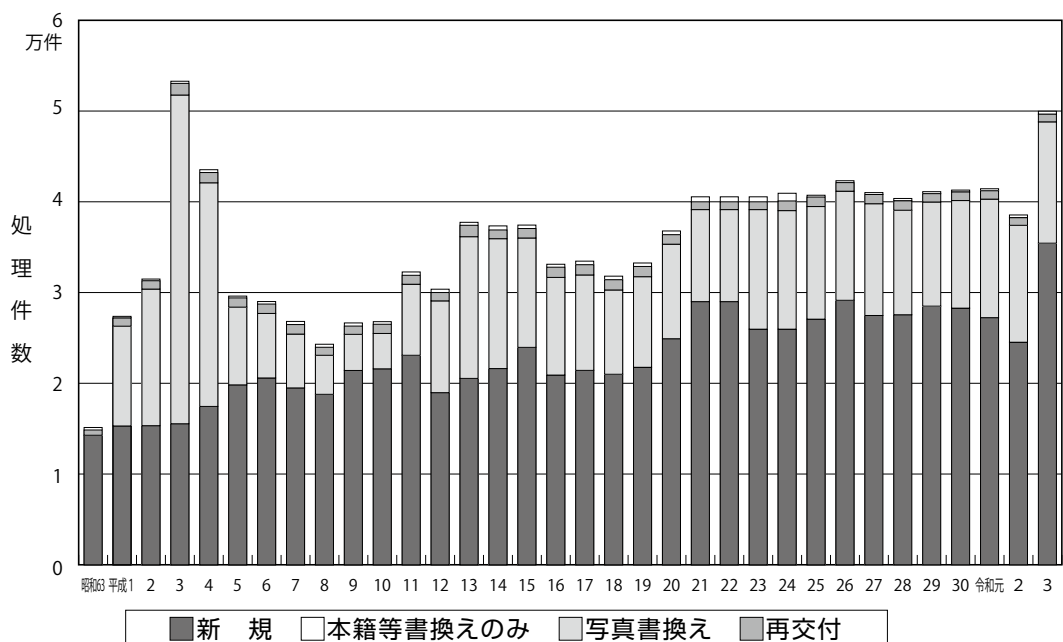


表1 危険物取扱者免状処理状況の推移

年度	合計		免状作成件数						本籍等の書換え			
	対前年増減率	対前年増減率	新規	対前年増減率	写真書換え	対前年増減率	再交付	対前年増減率	対前年増減率			
昭和63年度	182,519	—	180,838	—	177,566	—	—	3,272	—	1,681	—	
平成1年度	346,876	90.0%	345,648	91.1%	194,564	9.6%	143,422	—	7,662	134.2%	1,228	-26.9%
平成2年度	391,648	12.9%	390,165	12.9%	199,375	2.5%	181,642	26.6%	9,148	19.4%	1,483	20.8%
平成3年度	539,433	37.7%	537,231	37.7%	202,844	1.7%	321,056	76.8%	13,331	45.7%	2,202	48.5%
平成4年度	440,831	-18.3%	438,636	-18.4%	202,975	0.1%	223,087	-30.5%	12,574	-5.7%	2,195	-0.3%
平成5年度	262,788	-40.4%	260,787	-40.5%	208,727	2.8%	44,325	-80.1%	7,735	-38.5%	2,001	-8.8%
平成6年度	248,916	-5.3%	246,614	-5.4%	201,848	-3.3%	36,504	-17.6%	8,262	6.8%	2,302	15.0%
平成7年度	251,749	1.1%	249,179	1.0%	211,299	4.7%	29,927	-18.0%	7,953	-3.7%	2,570	11.6%
平成8年度	239,407	-4.9%	236,524	-5.1%	202,421	-4.2%	26,280	-12.2%	7,823	-1.6%	2,883	12.2%
平成9年度	232,704	-2.8%	229,664	-2.9%	194,220	-4.1%	27,355	4.1%	8,089	3.4%	3,040	5.4%
平成10年度	241,814	3.9%	238,753	4.0%	203,114	4.6%	27,086	-1.0%	8,553	5.7%	3,061	0.7%
平成11年度	336,025	39.0%	332,893	39.4%	220,497	8.6%	102,647	279.0%	9,749	14.0%	3,132	2.3%
平成12年度	350,831	4.4%	347,739	4.5%	211,281	-4.2%	125,622	22.4%	10,836	11.1%	3,092	-1.3%
平成13年度	394,582	12.5%	391,442	12.6%	209,542	-0.8%	169,911	35.3%	11,989	10.6%	3,140	1.6%
平成14年度	370,008	-6.2%	366,897	-6.3%	222,496	6.2%	132,005	-22.3%	12,396	3.4%	3,111	-0.9%
平成15年度	339,491	-8.2%	336,370	-8.3%	227,288	2.2%	96,983	-26.5%	12,099	-2.4%	3,121	0.3%
平成16年度	331,034	-8.4%	308,000	-8.4%	212,220	-6.6%	84,159	-13.2%	11,621	-4.0%	3,034	-2.8%
平成17年度	284,975	-8.4%	281,941	-8.5%	189,455	-10.7%	80,987	-3.8%	11,499	-1.0%	3,034	0.0%
平成18年度	292,603	2.7%	289,406	2.6%	200,093	5.6%	77,283	-4.6%	12,030	4.6%	3,197	5.4%
平成19年度	300,211	2.6%	296,952	2.6%	207,754	3.8%	77,283	0.0%	11,915	-1.0%	3,259	1.9%
平成20年度	297,098	-1.0%	293,815	-1.1%	196,075	-5.6%	84,923	9.9%	12,817	7.6%	3,283	0.7%
平成21年度	321,663	8.3%	318,486	8.4%	199,816	1.9%	106,110	24.9%	12,560	-2.0%	3,177	-3.2%
平成22年度	322,723	0.3%	319,375	0.3%	192,459	-3.7%	114,549	8.0%	12,367	-1.5%	3,348	5.4%
平成23年度	353,617	9.6%	350,030	9.6%	197,942	2.8%	137,460	20.0%	14,628	18.3%	3,587	7.1%
平成24年度	331,084	-6.4%	327,660	-6.4%	187,758	-5.1%	127,300	-7.4%	12,602	-13.9%	3,424	-4.5%
平成25年度	303,580	-8.3%	301,616	-7.9%	175,299	-6.6%	114,195	-10.3%	12,122	-3.8%	1,964	-42.6%
平成26年度	278,640	-8.2%	276,871	-8.2%	156,466	-10.7%	108,828	-4.7%	11,577	-4.5%	1,769	-9.9%
平成27年度	265,757	-4.6%	264,031	-4.6%	147,966	-5.4%	104,558	-3.9%	11,507	-0.6%	1,726	-2.4%
平成28年度	258,059	-2.9%	256,330	-3.0%	142,716	-3.5%	102,883	-1.6%	10,731	-6.7%	1,729	0.2%
平成29年度	267,738	3.8%	266,087	3.8%	151,668	6.3%	103,434	0.5%	10,985	2.4%	1,651	-4.5%
平成30年度	272,564	1.8%	270,900	1.8%	155,061	2.2%	104,995	1.5%	10,844	-1.3%	1,664	0.8%
令和元年度	275,948	1.2%	274,171	1.2%	147,187	-5.1%	115,922	10.4%	11,062	2.0%	1,777	6.8%
令和2年度	242,686	-12.1%	240,969	1.2%	114,386	-22.3%	116,128	0.2%	10,455	-5.5%	1,717	-3.4%
令和3年度	283,873	17.0%	281,861	33.8%	153,021	33.8%	118,857	2.3%	10,083	-3.6%	1,912	11.4%

注)平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

表2 消防設備士免状処理状況の推移

年度	合計		免状作成件数						本籍等の書換え			
	対前年増減率	対前年増減率	新規	対前年増減率	写真書換え	対前年増減率	再交付	対前年増減率	対前年増減率			
昭和63年度	14,988	—	14,753	—	14,218	—	—	535	—	235	—	
平成1年度	27,231	81.7%	27,092	83.6%	15,232	7.1%	11,062	—	798	49.2%	139	-40.9%
平成2年度	31,299	14.9%	31,179	15.1%	15,246	0.1%	15,031	35.9%	902	13.0%	120	-13.7%
平成3年度	53,267	70.2%	53,088	70.3%	15,439	1.3%	36,435	142.4%	1,214	34.6%	179	49.2%
平成4年度	43,398	-18.5%	43,196	-18.6%	17,386	12.6%	24,585	-32.5%	1,225	0.9%	202	12.8%
平成5年度	29,578	-31.8%	29,403	-31.9%	19,734	13.5%	8,716	-64.5%	953	-22.2%	175	-13.4%
平成6年度	28,994	-2.0%	28,760	-2.2%	20,632	4.6%	7,054	-19.1%	1,074	12.7%	234	33.7%
平成7年度	26,691	-7.9%	26,464	-8.0%	19,479	-5.6%	5,910	-16.2%	1,075	0.1%	227	-3.0%
平成8年度	24,274	-9.1%	23,971	-9.4%	18,728	-3.9%	4,276	-27.6%	967	-10.0%	303	33.5%
平成9年度	26,576	9.5%	26,297	9.7%	21,295	13.7%	4,043	-5.4%	959	-0.8%	279	-7.9%
平成10年度	26,691	0.4%	26,394	0.4%	21,567	1.3%	3,877	-4.1%	950	-0.9%	297	6.5%
平成11年度	32,256	20.8%	31,920	20.9%	23,105	7.1%	7,819	101.7%	996	4.8%	336	13.1%
平成12年度	30,402	-5.7%	30,107	-5.7%	18,881	-18.3%	10,192	30.3%	1,034	3.8%	295	-12.2%
平成13年度	37,655	23.9%	37,359	24.1%	20,539	8.8%	15,610	53.2%	1,210	17.0%	296	0.3%
平成14年度	37,288	-1.0%	36,947	-1.1%	21,629	5.3%	14,224	-8.9%	1,094	-9.6%	341	15.2%
平成15年度	37,387	0.3%	37,053	0.3%	23,877	10.4%	12,038	-15.4%	1,138	4.0%	334	-2.1%
平成16年度	33,025	-11.7%	32,733	-11.7%	20,753	-13.1%	10,823	-10.1%	1,157	1.7%	292	-12.6%
平成17年度	33,345	1.0%	33,030	0.9%	21,297	2.6%	10,607	-2.0%	1,126	-2.7%	315	7.9%
平成18年度	31,656	-5.1%	31,325	-5.2%	20,905	-1.8%	9,314	-12.2%	1,106	-1.8%	331	5.1%
平成19年度	33,142	4.7%	32,854	4.9%	21,705	3.8%	10,029	7.7%	1,120	1.3%	288	-13.0%
平成20年度	36,659	10.6%	36,369	10.7%	24,790	14.2%	10,527	5.0%	1,052	-6.1%	290	0.7%
平成21年度	40,390	10.2%	40,064	10.2%	28,458	14.8%	10,548	0.2%	1,058	0.6%	326	12.4%
平成22年度	40,379	0.0%	40,079	0.0%	27,444	-3.6%	11,557	9.6%	1,078	1.9%	300	-8.0%
平成23年度	40,214	-0.4%	39,885	-0.5%	25,586	-6.8%	13,080	13.2%	1,219	13.1%	329	9.7%
平成24年度	40,941	1.8%	40,662	1.9%	26,531	3.7%	13,067	-0.1%	1,064	-12.7%	279	-15.2%
平成25年度	40,723	-0.5%	40,525	-0.3%	27,066	2.0%	12,412	-5.0%	1,047	-1.6%	198	-29.0%
平成26年度	42,319	3.9%	42,112	3.9%	29,145	7.7%	12,021	-3.2%	946	-9.6%	207	9.0%
平成27年度	41,011	-3.1%	40,802	-3.1%	27,470	-5.7%	12,317	2.5%	1,015	7.3%	209	1.0%
平成28年度	40,365	-1.6%	40,102	-1.7%	27,552	0.3%	11,517	-6.5%	1,033	1.8%	263	25.8%
平成29年度	41,107	1.8%	40,897	2.0%	28,500	3.4%	11,476	-0.4%	921	-10.8%	210	-20.2%
平成30年度	41,278	0.4%	41,066	0.4%	28,268	-0.8%	11,857	3.3%	941	2.2%	212	1.0%
令和元年度	41,437	0.4%	41,214	3.6%	27,234	-3.7%	13,059	10.1%	921	-2.1%	223	5.2%
令和2年度	38,548	-7.0%	38,244	-7.2%	24,524	-10.0%	12,884	-1.3%	836	-9.2%	304	36.3%
令和3年度	49,970	29.6%	49,642	29.8%	35,439	44.5%	13,367	3.7%	836	0.0%	328	7.1%

注)平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数



# 支部の広場

## 岡山県支部からお届け

### はじめに（岡山県の概要）

岡山県は、北の緑豊かな中国山地から、県中央部のなだらかな吉備高原、南は風光明媚な瀬戸内海に広がる地形で、古くから大和地方と並ぶ古代吉備の文化発祥の地として栄えました。

気候が温暖で、晴れの日が多いことから、岡山県のトータルイメージを表現する言葉として「晴れの国おかやま」を使ってPRしています。

総面積は7,114km<sup>2</sup>で、東西、南北とも約100km程度のほぼ正方形に近い形をしており、県内には中国山地に源を発する三大河川（吉井川、旭川、高梁川）が流れ、良質で豊かな水を常にたたえ、生活用水、工業用水、農業用水として利用されています。

また、南は瀬戸内海を臨んで四国に、北は山陰地方と接しており、中四国地方の交通の要衝として古くから重要な位置にあり、県内縦横に延びる高速道路網、新幹線や東西南北につながる鉄道、国内外への玄関口となる岡山桃太郎空港など、交通基盤が充実しています。

新産業都市の優等生とされた水島工業地帯には石油、化学、鉄鋼など幅広い分野の高度な技術力を有する企業が集積しており、多くの危険物取扱施設も設置されています。

### 支部の状況

岡山県支部は、昭和59年12月に岡山県庁消防防災課内に発足し、その後4回の移転を経て、平成28年12月から現在地（岡山市北区内山下2-11-16 小山ビル4階）に事務所を構えています。

平成7年から20年間ほどは、県庁から東へ3km程度離れた岡山市郊外に事務所があり不便な面がありましたが、現在は県庁から300mほどの場所にあるので、県庁担当課との業務連絡などもスムーズに行うことができます。

また、建物は少し古いもののビルの4階に事務所があるので、窓から旭川を望むことができ、環境的には恵まれています。

職員は4名（県職員OB2名、プロパー2名）で、繁忙期には臨時職員1名を雇用するという体制で、業務を行っています。

### 試験業務の概要

#### 【危険物取扱者試験】

平成29年度までは、年2回の試験を実施していましたが、受験者の利便性向上と受験者の増加を図るため、平成30年度から1回追加し、年3回の試験を実施しています。

例年、第1回試験（6月）と第2回試験（10月）は、岡山市内の大学をメイン会場に、岡山市内1校・倉敷市内2校・津山市内1校の4工業高校と併せて5会場で実施し、第3回試験（2月）は岡山市内の大学1会場で実施しています。

1回当たりの受験申請者数が約3,000人前後と多くなるため、試験監督は、県職員OBや各消防本部（局）の職員の方々に監督員をお願いするとともに、大学生を監督補助員として雇い、合計約100～200名の体制で試験を実施しています。

なお、新型コロナウイルス感染症のために、試験会場の確保が難しくなり、会場での感染防止対策が求められるなど、大きな影響を受けていますが、幸い、試験の延期・中止までには至っていません。

近年の受験申請者数は次表のとおりで、近年減少傾向にあるものの、試験回数を追加した平成30年度以降は、新型コロナウイルスの影響で受験者が大きく減少した令和2年度を除き、9,000人台で推移しています。

少子化による高校生の減少やエネルギー需要等の社会情勢の変化に伴う危険物施設の減少などから全国的に受験者が減少する傾向にありますが、令和2年度には、6月試験で丙種に合格した小学1年の児童が、10月試験で乙種第4類にも合格するといった明るい話題もありました。

■表1 危険物取扱者試験受験申請者数の推移

年度	H18	H29	H30	R1	R2	R3
甲種	504	496	407	545	511	578
乙種	8,623	7,153	8,126	7,840	7,264	8,253
丙種	922	854	931	678	519	513
計	10,049	8,503	9,464	9,063	8,294	9,344
対前年(%)	92.4	101.3	111.3	95.8	91.5	112.7
対H18(%)	—	84.6	94.2	90.2	82.5	93.0
うち高校生	5,081	3,680	4,209	4,015	3,964	4,133
比率(%)	50.6	43.3	44.5	44.3	47.8	44.2

### 【消防設備士試験】

従来から、8月に岡山市内の大学1か所で県職員OBの方々に試験監督をお願いし、大学生の監督補助員も含めて、約60名程度の体制で試験を実施しています。

危険物取扱者試験と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、令和2年度には試験案内配付開始直後に試験日程を変更せざるを得なくなり、急遽代替施設を確保して1週間遅れで試験を無事実施しました。

近年の受験申請者数は次表のとおりで、毎年度約1,000人程度が受験しており、ほぼ横ばいの状況となっています。

■表2 消防設備士試験受験申請者数の推移

年度	H18	H29	H30	R1	R2	R3
甲種	388	456	408	427	441	455
乙種	513	699	604	608	583	599
計	901	1,155	1,012	1,035	1,024	1,054
対前年(%)	89.6	109.0	87.6	102.3	98.9	102.9

### 【高校生向けの対策】

工業高校等の担当教諭の方々との意見交換や受験に関する情報提供などを行う「受験しやすいモデル事業」を平成29年度から令和元年度の3年間実施するとともに、平成30年度からは、県内の高等学校に在籍する生徒で、危険物取扱者試験又は消防設備士試験の甲種（消防設備士においては、いずれかの甲種）又は乙種の全種の資格を取得した者に対して、その努力を讃えて表彰する制度を設けるなど、高校生の受験促進対策を実施しています。

### ○ 免状業務の概要

近年の状況は次表のとおりで、毎年度、約7000件程度の免状を交付しています。

近年の特徴としては、10年スパンで写真書換が集中する時期となっていることや、免状への旧姓併記を希望する方も増えつつあるなど、免状書換の業務量が増加しています。

写真書換については、免状交付後10年を経過した方を対象に「お知らせハガキ」を平成19年度から送付していますが、毎年度、あて先不明で約4分の1程度が返戻されている状況です。

なお、危険物取扱者の新規交付が、令和2年度は激減し令和3年度に激増していますが、この理由は、業務情報システム更新作業のために、令和2年度第3回試験（令和3年2月実施）の合格者への免状交付開始が令和3年度にずれ込んだことによるものです。

■表3 免状交付件数の推移

区分	年度	H29	H30	R1	R2	R3
危険物取扱者	新規交付	2,893	3,220	3,407	2,213	4,038
	写真書換等	2,784	3,049	3,115	3,295	3,404
	小計	5,677	6,269	6,522	5,508	7,442
消防設備士	新規交付	329	268	260	323	314
	写真書換等	287	353	321	369	425
	小計	616	621	581	692	739
合計	6,293	6,890	7,103	6,200	8,181	

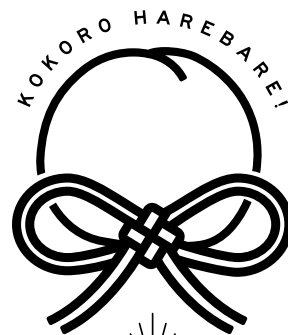
### ○ おわりに

岡山県及び県下各消防本部（局）、各学校関係等の皆様方をはじめ、センター本部及び他支部の方々には、岡山県支部の業務運営に格別の御支援、御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今後とも、受験者数が減少し続けるとともに、新型コロナウイルスとの闘いが続くのではないかとありますが、これまでと同様にセンターの業務は着実に運営していく必要があると考えております。

このためには、関係機関、団体等との連携が、より重要でありますので、今後とも、皆様方の一層の御指導をいただきますようお願いいたしまして、岡山県支部の紹介を終わらせていただきます。

なお、岡山県では本年7月から9月まで「岡山デスティネーションキャンペーン」が実施されますので、是非、岡山に訪れていただければと存じます。



こころ  
晴ればれ  
おかやまの旅

## 甲種危険物取扱者を取得するまで

### 1. 危険物取扱者試験を受験したきっかけ

私が危険物取扱者試験について知ったのは中学3年生の秋ごろでした。父が勉強していた危険物取扱者乙種第4類の参考書を見てどのような試験なのかが気になり、漫画を読むような感覚で軽く読んでみました。その時は、指定数量だのジエチルエーテルだの知らない単語がいくつも出てきたので難しく感じましたが、元々化学は好きだったので危険物取扱者試験に興味を持ちました。

その後、王寺工業高校のオープンスクールに参加して、自分の希望している情報電子工学科では1年生で乙種第4類を受験することを知り、危険物取扱者資格を取りたいと思うようになりました。

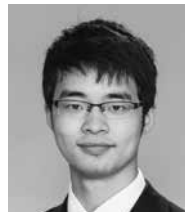
### 2. 乙種4類の合格を目指して

私の入学した情報電子工学科では、乙種第4類の合格に向けて専門的に学ぶ「チャレンジ」という専門科目があります。その授業ではまず、「物理・化学」について勉強していきました。内容は、物理変化や化学変化、燃焼・消火の仕組みなどがあり、中学校の理科で習う内容も多かったので理解がしやすかったです。ですが、計算問題を解くのに必要な公式はほとんど知らなかったもので、公式の意味を知るとともに実際に問題を解くことで理解を深めました。

「物理・化学」をひと通り勉強したあとは、「法令」と「性質・消火」を同時進行で勉強することにしました。というのも、チャレンジを担当されている先生は理論や間違えやすい内容を科目で分けずにまとめて授業で解説して、暗記するところは個人で進めるというスタイルだったからです。暗記することは自分にとって苦ではありませんでしたが、「法令」の保安距離・保有空地・予防規定・定期点検が必要な製造所等の間違えやすいところは語呂合わせで覚え、11月の試験日までにテキストを何周か勉強して問題に慣れるように頑張りました。資格試験を受けるのはこれが初めてで直前まで不安がありましたが、勉強の甲斐があり無事に合格することができました。

### 3. 甲種の受験資格を得るために

乙種第4類を取ったことで、4類以外の危険物についても学びたいという気持ちと、この際すべての危険物を取り扱うことができる甲種危険物取扱者を取りたいと思



吉村 祐摩

奈良県立王寺工業高等学校  
情報電子工学科3年

うようくなりました。ですが、甲種には受験資格があり、また大学進学へ向けた勉強も早めに行いたいと考えていました。そのため、3月に3類・5類・6類を同時受験することを決めました。

3類・5類・6類の勉強は、乙種第4類の勉強とは違った難しさがありました。乙種第4類を取得しているので、「法令」と「物理・化学」は免除されて「性質・消火」のみの勉強ですが、問題数が10問なので、わからない問題が1問あるだけでも致命傷になりかねません。

勉強を進めていくなかでとくに苦労したのは、物質の形状、色、保存方法などです。たとえば、第5類の危険物であれば同じ固体の物質でも粉末や粒状結晶、板状結晶に細分化されたり、色はほとんどが無色か白色ですが、淡黄色や黄色であるものも存在します。それらを覚えるのが大変でしたが、その類の大多数を占める性質を覚えたあとに少数の性質を1つずつ覚えていくことで、自分なりに対処することができました。そして、問題集の勉強では、解けたうえにしばらく経っても解けるといふ自信のある問題には大きな丸印を書き、間違えていた問題や自信のない問題は理解が得られるまで解き直しました。その結果、3類・5類・6類を満点で合格することができました。

### 4. 甲種の合格を目指して

甲種の受験は、校内で行われる危険物取扱者試験で直近の7月にしました。ただ、受験日は1学期期末考査の2週間後であり、期末考査の前にもほかの資格試験の受験があったので、2週間の勉強で合格できるようにしっかりと学習計画立てをしました。

甲種の勉強を進めて、それぞれの科目について気付くことがいくつかありました。

「法令」は、乙種とそれほど内容は変わらなかったのですが、乙種第4類の勉強と同様に指定数量や製造所等の区分



をもう一度ひと通り勉強しました。

「物理・化学」は、とくに化学の難易度が高く感じました。酸化還元反応や中和反応などの理解が必要な問題や、化学式を知らないと解けない問題もあるので1つ1つ暗記しました。また、水素イオン指数を計算する問題では数学Ⅱで勉強する指数・対数の知識も必要であるため、学習サイトやYouTubeを使って勉強しました。

「性質・消火」は、すべての危険物について幅広い知識が必要となります。これまで勉強したことのない1類・2類についても覚えてから、各類の物質の性質を1つ1つ押さえていきました。

甲種ではかなり専門的なことが問われるため、乙種よりも段違いに大変でした。ですが、化学の計算問題や燃焼理論などの問題は解けるようになるととても面白く感じました。それらがモチベーションとなったので、最後まで勉強に取り組むことができたのだと思います。

試験当日、甲種を受験する生徒は3人で、試験の直前まで全員が参考書を読んで確認していました。試験では解ける問題をとにかく解いていき、分からない問題はできる限り選択肢を絞って解き進めていきました。そして、試験の結果は「法令」が80%、「物理・化学」が90%、「性

質・消火」が90%で、無事に念願の甲種危険物取扱者試験に合格することができました。

## 5.おわりに

私は危険物取扱者試験を通して、興味・関心を持ち、綿密に計画を立てて挑戦することが重要だと思いました。そして、危険物取扱者試験の合格が自信となり、工事担任者 総合通信やITパスポートなどの資格も取得することができました。

資格を取得することで得られた経験を活かして、これからも弛まぬ努力を重ねていきたいと思います。



# 消防庁の通知・通達等

## ◆令和3年中の危険物に係る事故に関する執務資料の送付について（通知）

消防危第113号 令和4年5月26日

消防庁危険物保安室長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あて

### 要旨

今般、「令和3年中の危険物に係る事故の概要」及び「都道府県別の危険物に係る事故の発生状況」をそれぞれ別添1及び別添2のとおり取りまとめました。また、令和3年中の危険物に係る事故の主なポイント、指導上の留意事項等を下記のとおり取りまとめましたので、執務上の参考として下さい。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知くださいますようお願いいたします。

なお、本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

### 記

#### 1 令和3年中の危険物に係る事故の主なポイント

##### (1) 火災事故

###### ア 火災事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における火災事故の発生件数は37件増加し、224件となっており、そのうち重大事故は12件発生している。

施設別の火災事故発生件数については、一般取扱所、製造所、給油取扱所の順となっており、この3施設で全体の約95%（213件/224件）を占めている。

また、1万施設当たりの火災事故の発生件数の高い危険物施設は、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

###### イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、一般取扱所が最も多く8件、次いで製造所が4件の順となっている。

###### ウ 重大事故における深刻度評価指標

深刻度評価指標別に各重大事故をみると、収束時間指標が重大事故要件に達しているものが12件、影響範囲指標が1件、人的被害指標が0件となっている（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）。

###### エ 出火の原因に関係した物質

火災事故のうち、危険物が出火の原因に関係した物質となる火災事故が約49%（110件/224件）を占めている。このうち、第4類の危険物によるものが約92%（101件/224件）を占めており、品名別にみると、第4類第1石油類が約55%（56件/101件）と最も高い割合を占めている。

###### オ 火災事故の発生原因及び着火原因

火災事故の発生原因では、人的要因が約54%（120件/224件）を占めている。このうち、維持管理不十分によるものが約34%（41件/120件）を占めている。主な着火原因では、静電気火花が約22%（50件/224件）と最も高く、次いで過熱着火が約12%（26件/224件）の割合を占めている。

##### (2) 流出事故

###### ア 流出事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における流出事故の発生件数は47件増加して、422件となっており、そのうち重大事故は8件発生している。

施設別の流出事故件数については、一般取扱所、給油取扱所、屋外タンク貯蔵所の順となっており、この3施設で約58%（246件/422件）を占めている。

1万施設当たりの流出事故の発生件数の高い危険物施設は、移送取扱所、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

#### イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、地下タンク貯蔵所及び一般取扱所が最も多く3件、次いで移動タンク貯蔵所及び給油取扱所が1件の順となっている。

#### ウ 重大事故における深刻度評価指標

深刻度評価指標別に各重大事故をみると、流出被害指標が重大事故要件に達しているものが8件、人的被害指標は0件であった（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）。

なお、「危険物施設における火災・流出事故に係る深刻度評価指標の一部改正について」（令和2年12月7日付け消防危第287号）に基づき、令和3年中から新たな深刻度評価指標を適用している。

#### エ 流出した危険物

流出事故において流出した危険物の種類は、第4類の危険物が約98%（415件/422件）を占めており、このうち第4類第2石油類が約37%（155件/415件）と最も高い割合を占めている。

#### オ 流出事故の発生原因

流出事故の発生原因は、物的要因が約55%（232件/422件）を占めている。このうち、腐食疲労等劣化によるものが約65%（151件/232件）を占めている。腐食疲労等劣化による流出事故が多い施設は、一般取扱所、屋外タンク貯蔵所、製造所の順となっている。

また、約35%（149件/422件）を占める人的要因のうち、操作確認不十分によるものが約46%（69件/149件）を占めている。

### 2 指導上の留意事項

火災事故の発生原因としては、人的要因である維持管理不十分や操作確認不十分、誤操作が多く、着火原因では、静電気火花や過熱着火が多い。次に、流出事故の発生原因としては、物的要因である腐食疲労等劣化が最も多く、次いで人的要因である操作確認不十分によるものが多い。

火災事故及び流出事故のいずれの場合においても、人的要因に対する対策としては予防規程等を活用した保安教育の徹底、物的要因の対策としては施設及び設備等の経年劣化も踏まえた点検、維持管理の徹底について、あらゆる機会を活用し指導されたい。

また、危険物に係る事業者団体、消防関係機関等により策定された「令和4年度危険物等事故防止対策実施要領」と別添1及び別添2の統計データを参考とし、都道府県別の事故発生状況や危険物施設の態様を踏まえた事故防止対策を実施していくことが必要である。特に、令和3年中も含め近年の事故件数や事故発生率が大きく増減したものについては、その原因や再発防止について検討されたい。

### 3 風水害対策の留意事項

梅雨期や台風期を迎えるに当たり、「危険物施設の風水害対策ガイドラインについて」（令和2年3月27日付け消防危第86号・消防災第55号）、「危険物施設の風水害対策の一層の推進について」（令和3年3月30日付け消防危第49号・消防災第41号）及び「小規模屋外貯蔵タンクの津波・水害対策について」（令和4年3月30日付け消防危第63号）に示す危険物施設の風水害対策ガイドライン等における各事項を確認の上、事業所の実情に応じて必要な対策を講ずるよう指導されたい。

### 4 令和3年中の危険物施設における火災事故及び流出事故の代表的な事例について

令和3年中の危険物施設における火災事故及び流出事故の中から、重大事故を中心に15件の事故事例について、事故概要、事業所における事故を踏まえた対策と効果、及び事故事例から得られる事故防止対策上のポイント等を別添3のとおりとりまとめたことから、事業所における従業員への保安教育等に活用されたい。

※ 全文については、消防庁ホームページに掲載されておりますので参照ください。

<https://www.fdma.go.jp/>

# 業務報告

## 4月の試験実施結果

### ■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	676	289	42.8
乙種第1類	76	62	81.6
乙種第2類	93	69	74.2
乙種第3類	113	89	78.8
乙種第4類	4,296	1,896	44.1
乙種第5類	123	93	75.6
乙種第6類	112	80	71.4
乙種計	4,813	2,289	47.6
丙種	151	93	61.6
合計	5,640	2,671	47.4

#### □危険物取扱者試験実施支部等

北海道、岩手、宮城、茨城、群馬、東京、石川、福井、山梨、大阪、沖縄

### ■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	0	0	—
甲種第1類	201	71	35.3
甲種第2類	1	1	100.0
甲種第3類	0	0	—
甲種第4類	0	0	—
甲種第5類	0	0	—
甲種計	202	72	35.6
乙種第1類	0	0	—
乙種第2類	0	0	—
乙種第3類	0	0	—
乙種第4類	0	0	—
乙種第5類	0	0	—
乙種第6類	713	313	43.9
乙種第7類	6	1	16.7
乙種計	719	314	43.7
合計	921	386	41.9

#### □消防設備士試験実施支部等

東京、石川

## 4月中の免状作成状況

(単位:件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	15,399	15,399	4,586	4,586	19,985	19,985
本籍等の書換え	166	166	31	31	197	197
写真書換え	8,524	8,524	922	922	9,446	9,446
再交付	871	871	61	61	932	932
計	24,960	24,960	5,600	5,600	30,560	30,560

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

## 5月の試験実施結果

### ■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	585	196	33.5
乙種第1類	458	342	74.7
乙種第2類	408	302	74.0
乙種第3類	559	420	75.1
乙種第4類	7,426	3,244	43.7
乙種第5類	518	412	79.5
乙種第6類	558	442	79.2
乙種計	9,927	5,162	52.0
丙種	623	378	60.7
合計	11,135	5,736	51.5

#### □危険物取扱者試験実施支部等

北海道、秋田、山形、福島、埼玉、東京、石川、岐阜、愛知、京都、大阪、奈良、佐賀

### ■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	119	46	38.7
甲種第1類	395	108	27.3
甲種第2類	393	115	29.3
甲種第3類	399	139	34.8
甲種第4類	1,267	452	35.7
甲種第5類	412	162	39.3
甲種計	2,985	1,022	34.2
乙種第1類	82	34	41.5
乙種第2類	26	8	30.8
乙種第3類	72	37	51.4
乙種第4類	701	283	40.4
乙種第5類	54	27	50.0
乙種第6類	779	340	43.6
乙種第7類	581	385	66.3
乙種計	2,295	1,114	48.5
合計	5,280	2,136	40.5

#### □消防設備士試験実施支部等

北海道、山形、東京、愛知、徳島

## 5月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	4,195	19,594	1,880	6,466	6,075	26,060
本籍等の書換え	155	321	27	58	186	379
写真書換え	10,014	18,538	901	1,823	10,915	20,361
再交付	793	1,664	60	121	853	1,785
計	15,157	40,117	2,868	8,468	18,029	48,585

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

**危険物取扱者試験日程（申請受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）**  
 ※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部名	試験日		受付期間				甲種	乙種						丙種
			電子申請		書面申請			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
	月日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日								
北海道	9月4日	日	7月25日	8月1日	7月28日	8月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月2日	日	8月19日	8月26日	8月22日	8月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
青森	11月5日	土	9月13日	9月27日	9月16日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月6日	日	9月13日	9月27日	9月16日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月12日	土	9月13日	9月27日	9月16日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月13日	日	9月13日	9月27日	9月16日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月19日	土	9月13日	9月27日	9月16日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月20日	日	9月13日	9月27日	9月16日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月26日	土	9月13日	9月27日	9月16日	9月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岩手	10月1日	土	8月15日	8月22日	8月18日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月8日	土	8月15日	8月22日	8月18日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
10月15日	土	8月15日	8月22日	8月18日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
宮城	9月11日	日	7月25日	8月2日	7月28日	8月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
秋田	10月2日	日	8月23日	9月2日	8月26日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月9日	日	8月23日	9月2日	8月26日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山形	10月15日	土	8月26日	9月5日	8月29日	9月8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月22日	土	9月2日	9月12日	9月5日	9月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月19日	土	9月30日	10月11日	10月3日	10月14日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
福島	10月8日	土	7月22日	8月1日	7月25日	8月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月15日	土	7月22日	8月1日	7月25日	8月4日				乙4				
	10月22日	土	7月22日	8月1日	7月25日	8月4日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	10月29日	土	8月12日	8月22日	8月15日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月5日	土	8月12日	8月22日	8月15日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月12日	土	8月12日	8月22日	8月15日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月25日	金	9月2日	9月12日	9月5日	9月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月26日	土	9月2日	9月12日	9月5日	9月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月17日	土	9月2日	9月12日	9月5日	9月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
栃木	10月30日	日	9月2日	9月13日	9月5日	9月16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月6日	日	9月2日	9月13日	9月5日	9月16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
群馬	10月30日	日	9月12日	9月26日	9月15日	9月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月6日	日	9月12日	9月26日	9月15日	9月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
11月20日	日	9月12日	9月26日	9月15日	9月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
埼玉	10月2日	日	8月19日	8月26日	8月22日	8月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月20日	日	9月13日	10月3日	9月16日	10月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
千葉	11月23日	水	9月13日	10月3日	9月16日	10月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月27日	日	9月13日	10月3日	9月16日	10月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月4日	日	9月30日	10月14日	10月3日	10月17日	甲種							丙種
東京	9月17日	土	7月26日	8月5日	7月29日	8月8日					乙4			
	9月25日	日	8月2日	8月12日	8月5日	8月15日					乙4			
	10月1日	土	8月9日	8月19日	8月12日	8月22日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	10月2日	日	8月9日	8月19日	8月12日	8月22日					乙4			
	10月8日	土	8月16日	8月26日	8月19日	8月29日					乙4			
	10月22日	土	8月27日	9月6日	8月30日	9月9日					乙4			
	10月29日	土	9月3日	9月13日	9月6日	9月16日					乙4			
	11月3日	木	9月3日	9月13日	9月6日	9月16日	甲種							
11月20日	日	9月27日	10月8日	9月30日	10月11日					乙4				
神奈川	9月18日	日	7月26日	8月1日	7月29日	8月4日	甲種				乙4			丙種
新潟	9月4日	日	7月12日	7月29日	7月15日	8月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月9日	日	8月21日	8月30日	8月24日	9月2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
富山	10月15日	土	8月21日	8月30日	8月24日	9月2日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	10月16日	日	8月21日	8月30日	8月24日	9月2日					乙4			
	10月22日	土	8月21日	8月30日	8月24日	9月2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
石川	9月11日	日	7月25日	8月1日	7月28日	8月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月19日	月	7月25日	8月1日	7月28日	8月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月25日	日	7月25日	8月1日	7月28日	8月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月19日	水	8月29日	9月5日	9月1日	9月8日					乙4			丙種
福井	10月30日	日	9月2日	9月9日	9月5日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月6日	日	9月2日	9月9日	9月5日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山梨	10月23日	日	8月27日	9月3日	8月30日	9月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月5日	土	8月27日	9月3日	8月30日	9月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
長野	10月2日	日	8月14日	8月26日	8月17日	8月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月16日	日	8月14日	8月26日	8月17日	8月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月23日	日	8月14日	8月26日	8月17日	8月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月30日	日	8月14日	8月26日	8月17日	8月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岐阜	10月23日	日	8月30日	9月9日	9月2日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月6日	日	8月30日	9月9日	9月2日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
静岡	11月6日	日	8月26日	9月5日	8月29日	9月8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月13日	日	8月26日	9月5日	8月29日	9月8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
愛知	10月2日	日	8月20日	8月29日	8月23日	9月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月30日	日	9月17日	9月26日	9月20日	9月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
11月6日	日	9月17日	9月26日	9月20日	9月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	

三重	11月 5日	土	9月 4日	9月13日	9月 7日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	11月 6日	日	9月 4日	9月13日	9月 7日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	11月12日	土	9月 4日	9月13日	9月 7日	9月16日				Z4				丙種
滋賀	10月15日	土	8月26日	8月30日	8月29日	9月 2日					Z4			
	10月16日	日	8月26日	8月30日	8月29日	9月 2日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月17日	月	8月26日	8月30日	8月29日	9月 2日					Z4			
	10月18日	火	8月26日	8月30日	8月29日	9月 2日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
10月19日	水	8月26日	8月30日	8月29日	9月 2日					Z4				
京都	10月16日	日	8月26日	9月 2日	8月29日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月30日	日	8月26日	9月 2日	8月29日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
大阪	10月 2日	日	8月22日	8月29日	8月25日	9月 1日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
兵庫	9月18日	日	7月29日	8月 5日	8月 1日	8月 8日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
和歌山	10月16日	日	8月19日	8月26日	8月22日	8月29日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月23日	日	8月19日	8月26日	8月22日	8月29日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
鳥取	10月16日	日	8月 9日	8月23日	8月12日	8月26日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月23日	日	8月 9日	8月23日	8月12日	8月26日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
島根	10月30日	日	8月19日	9月 2日	8月22日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	11月 6日	日	8月19日	9月 2日	8月22日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
岡山	10月23日	日	8月19日	8月29日	8月22日	9月 1日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
広島	11月13日	日	9月27日	10月 4日	9月30日	10月 7日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
山口	11月19日	土	8月30日	9月12日	9月 2日	9月15日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	11月20日	日	8月30日	9月12日	9月 2日	9月15日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
香川	11月19日	土	9月24日	10月 4日	9月27日	10月 7日					Z4			
	11月20日	日	9月24日	10月 4日	9月27日	10月 7日	甲種	Z1	Z2	Z3		Z5	Z6	丙種
愛媛	10月23日	日	8月23日	9月 2日	8月26日	9月 5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
高知	10月23日	日	8月30日	9月12日	9月 2日	9月15日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月30日	日	8月30日	9月12日	9月 2日	9月15日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
佐賀	11月20日	日	9月12日	9月26日	9月15日	9月29日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
長崎	11月19日	土	9月 2日	9月13日	9月 5日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
熊本	11月 6日	日	9月12日	9月19日	9月15日	9月22日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
大分	11月27日	日	9月25日	10月 4日	9月28日	10月 7日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
宮崎	11月20日	日	9月 2日	9月13日	9月 5日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
鹿児島	11月 5日	土	9月17日	9月26日	9月20日	9月29日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種

消防設備士試験日程 (申請受付が8・9月にかかる日程分を抜粋)																			
※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。																			
支部名	試験日		受付期間				甲種					乙種							
			電子申請		書面申請		特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
	月	日	曜日	開始日	締切日	開始日													
北海道	10月 2日	日	8月19日	8月26日	8月22日	8月29日		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
青森	10月 1日	土	8月 9日	8月23日	8月12日	8月26日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
	10月 8日	土	8月 9日	8月23日	8月12日	8月26日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
	10月15日	土	8月 9日	8月23日	8月12日	8月26日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
宮城	10月16日	日	8月29日	9月 6日	9月 1日	9月 9日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
秋田	11月 6日	日	9月26日	10月 4日	9月29日	10月 7日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
東京	9月15日	木	7月26日	8月 5日	7月29日	8月 8日							Z1	Z2	Z3		Z5		
	9月19日	月	7月26日	8月 5日	7月29日	8月 8日		甲1											
	9月23日	金	8月 2日	8月12日	8月 5日	8月15日					甲4								
	10月 4日	火	8月16日	8月26日	8月19日	8月29日												Z6	
	10月18日	火	8月27日	9月 6日	8月30日	9月 9日										Z4			Z7
	10月23日	日	8月27日	9月 6日	8月30日	9月 9日		甲1											
	10月30日	日	9月 3日	9月13日	9月 6日	9月16日	特類		甲2	甲3		甲5							
11月23日	水	9月27日	10月 8日	9月30日	10月11日					甲4									
新潟	10月 9日	日	8月16日	9月 2日	8月19日	9月 5日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
石川	10月16日	日	8月19日	8月26日	8月22日	8月29日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
滋賀	11月26日	土	9月30日	10月 4日	10月 3日	10月 7日					甲4				Z4				Z7
	11月27日	日	9月30日	10月 4日	10月 3日	10月 7日		甲1	甲2	甲3							Z5	Z6	
	11月28日	月	9月30日	10月 4日	10月 3日	10月 7日	特類				甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4			Z7
11月29日	火	9月30日	10月 4日	10月 3日	10月 7日		甲1	甲2	甲3								Z5	Z6	
京都	11月27日	日	9月27日	10月 4日	9月30日	10月 7日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
奈良	9月18日	日	8月 5日	8月12日	8月 8日	8月15日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
鳥取	11月20日	日	9月12日	9月26日	9月15日	9月29日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
沖縄	10月16日	日	8月28日	9月 6日	8月31日	9月 9日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
	10月30日	日	9月11日	9月24日	9月14日	9月27日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7

Voice...

## 編集後記

今年の関東甲信地方の梅雨入りは6月6日で、九州南部より早いのは2005年以来17年ぶりとのことでした。

さて、2005年といえばJR福知山線脱線事故や耐震偽造の発覚などがあった一方で、ディープインパクトの三冠達成、日本シリーズの「ロッセ33-4阪神」、紀宮清子内親王のご結婚、惑星探査機はやぶさのイトカワ到着などもありました。今年も残すところ半分、明るい話題を期待したいところです。

今月号は、令和3年度の事業報告、試験の実施状況、免状の作成状況等を業務情報として特集しました。ご参考となれば幸いです。

2022 July

都道府県  
後援：消防庁

新たな誇りを胸に。

# 10年目 免状更新

空手日本代表  
喜友名 諒

## 危険物 取扱者

危険物取扱者免状 見本

氏名	喜友名 諒	写真	
種別	危険物取扱者	交付年月日	2014.03.01
交付番号	00100	交付印	
更新年月日	2024.03.01	更新印	
更新番号	00200	更新印	
交付印		更新印	

写真の書換えは  
平成24年  
03月01日まで  
1113-2222-3333  
〇〇〇短事

## 消防 設備士

消防設備士免状 見本

氏名	喜友名 諒	写真	
種別	消防設備士	交付年月日	2014.03.01
交付番号	00100	交付印	
更新年月日	2024.03.01	更新印	
更新番号	00200	更新印	
交付印		更新印	

写真の書換えは  
平成24年  
03月01日まで  
1113-2222-3333  
〇〇〇短事

写真の書換え期限10年を経過している方は  
速やかに更新手続きを行ってください。



消防試験研究センターだより

# Voice...

vol.392 令和4年7月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9272(企画研究部)/ FAX.03(5511)2751

ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

